

令和3年度 中川区区政運営方針

令和3年5月

区のマスコットキャラクター



ナッピー



ハボン

目 次

1	はじめに	
(1)	区政運営方針について	1
(2)	区政運営方針の施策体系について	1
(3)	事業シートの作成にあたって	2
(4)	新型コロナウイルス感染症に関する取り組みについて	2
2	事業シート	
	「安心・安全きれいなまち」に向けた取り組み	
	施策1－1 地域防災力の向上	4
	施策1－2 防犯対策・交通安全対策の推進	11
	施策1－3 快適に暮らせる環境づくり	16
	「みんなにやさしいまち」に向けた取り組み	
	施策2－1 子育て環境の充実	19
	施策2－2 子ども・青少年の健全育成	29
	施策2－3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	35
	「魅力あふれるまち」に向けた取り組み	
	施策3－1 区民のふれあいと交流の推進	42
	施策3－2 まちの魅力の発掘・発信	44
	その他の取り組み	
	つながりづくりに向けた取り組み	53
	住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み	54
3	令和2年度の取り組み結果について	
(1)	将来ビジョンに掲げる成果目標の進ちょく状況	58
(2)	事業ごとの進ちょく状況	61
4	令和3年度の主な予算	
(1)	自主的・主体的な区政運営にかかる予算	64
(2)	区の特성에応じたまちづくり事業にかかる予算	64
5	区まちづくり基金	64
6	関係公署（所）の取り組み	65
7	区役所の組織及び連絡先	67

掲載している内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して作成しておりますが、感染拡大の状況を踏まえて、大幅に変更する場合があります。
日時や場所など詳細については、適宜担当課にご確認いただきますようお願いいたします。

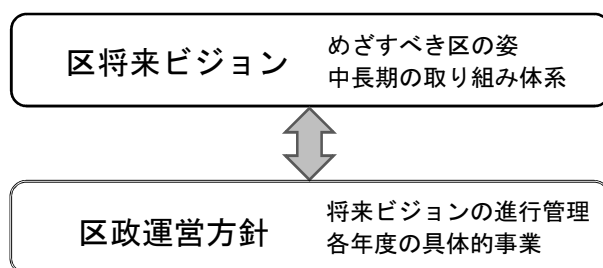
1 はじめに

(1) 区政運営方針について

区政運営方針は、区が実施する主な取り組みを皆さんにお知らせするものであり、令和2年5月に策定した中川区将来ビジョン(※)で示す中長期の取り組みについて、年度ごとの具体的な取り組み内容や進行管理の状況等を中心に掲載するものです。

※ 区将来ビジョン

区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組み（令和2年度から令和5年度までの4年間）を体系化したもの。



(2) 区政運営方針の施策体系について

区政運営方針は、中川区将来ビジョンの施策体系に基づき構成しています。施策体系は、以下のとおりとなります。

区 分		取り組み内容
めざすまちの姿	安心・安全 きれいなまち	施策1-1 地域防災力の向上
		施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進
		施策1-3 快適に暮らせる環境づくり
	みんなに やさしいまち	施策2-1 子育て環境の充実
		施策2-2 子ども・青少年の健全育成
		施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
	魅力 あふれるまち	施策 3-1 区民のふれあいと交流の推進
		施策 3-2 まちの魅力の発掘・発信
	その他の取り組み※	

※将来ビジョン第5章に掲載する、めざすまちの姿の実現に向けた取り組み

(3) 事業シートの作成にあたって

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、区が実施を予定していた多数の事業について、中止や縮小を余儀なくされました。

令和3年度においても、感染対策が引き続き必要な状況が想定されますが、名古屋市が策定し定期的に改定を行っている「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」等を踏まえ適切に対策をとったうえで、事業の趣旨の実現に向けて「With コロナ」の時代に合わせた形で、実施してまいります。

なお、感染拡大の状況によっては、皆さまの安全の確保のため、事業内容の変更や、やむを得ず中止とする場合もあります。

(参考)「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」(R2.11.27 改定)
別紙1 イベント開催時の必要な感染防止策(2) 基本的な感染防止等より抜粋

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・ マスク着用の推奨 | ・ 大声を出さないことの推奨 |
| ・ 手洗いの推奨 | ・ 消毒 |
| ・ 換気 | ・ 密集の回避 |
| ・ 身体的距離の確保 | ・ 飲食の制限 |
| ・ 参加者の制限 | ・ 参加者の把握 |
| ・ 演者の行動管理 | ・ 催物前後の行動管理 |
| ・ ガイドライン遵守の旨の公表 | |

(注) 4ページから57ページに掲載する令和3年度事業シートにおいては、上記に示すような感染対策をとったうえで実施する事業には「感染対策」のマークを付しています。

また、不特定多数の方が一か所に集まるなど、感染対策に特に力を入れる必要がある事業については、「感染対策」のマークとともに、具体的な感染対策も併せて記載しています。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関する取り組みについて

区役所保健センターにおいては、濃厚接触者の特定や、感染者の健康観察等の新型コロナウイルス感染症対応を行っています。部署の垣根にとらわれることなく、業務量に応じて保健センター以外の部署からの応援体制もとりながら、区役所全体として新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めてまいります。

また、令和3年5月から中川区でも区役所講堂や区内の小学校等でワクチン集団接種が順次始まります。接種会場での混乱を防ぎ皆さまが安心してワクチンを接種いただけるよう、職員一同取り組んでまいります。

◎トピックス ～区役所庁舎における感染防止策について～

区役所では、安心して区役所をご利用いただけるよう、消毒液の設置のほか、以下のような感染対策を実施しております。ご不便をおかけすることも多分にあるかと思いますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。

① 市民課呼び出し待合スペースの拡充

市民課のお呼び出しまでの混雑を分散できるよう、市民課に設置されている呼び出し番号案内表示ディスプレイと同じものを、区役所2階キッズコーナー「すまいる」でも表示しております。1階待合スペースが混雑している際やお子様を遊ばせながらお待ちいただく際などにぜひご活用ください。

② 市民課窓口・駐車場混雑状況のお知らせ

区役所市民課（届出・証明/マイナンバー窓口）及び区役所駐車場の混雑状況を「混雑ランプ」を活用し、区公式ウェブサイトにてお知らせしております。ランプを参考に混雑時期を避けたり、便利な各種証明サービスや郵送等による請求のご利用と併せて混雑緩和にご協力ください。

2 事業シート

めざすまちの姿 安心・安全きれいなまち 施策 地域防災力の向上

1. 令和3年度事業内容等

No.	1	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ①地域特性に応じた適切な避難行動に係る計画策定等の支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署		
趣 旨	学区ごとに「地区防災カルテ※1」を活用した話し合いを行い、地域特性及び防災活動実施状況の確認とともに避難行動計画の策定・見直しなど、地域特性に応じた防災活動を進めることで、地域防災力を向上させる。				
課 題	地域が主体となって、地域特性や活動状況を把握した上で、防災活動に取り組めるように支援していく必要がある。				
事業内容	1 地域特性及び防災活動状況の把握 感染対策 地域と行政（区役所及び消防署等）で「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域の災害リスクや防災活動状況についての認識を深めるとともに、「地区防災カルテ」の内容を充実させ、継続更新していく。 2 災害（地震・風水害）時の適切な避難行動に係る計画の策定等 感染対策 （1）地域避難行動マップなどを含む「地域避難行動計画」の策定（更新含む）を支援する。 （2）地域での助け合いの推進 要配慮者への対応を含めた地域の助け合い（共助）の取り組み（名簿作成、支援計画作成、避難支援訓練など）を支援する。				
計画目標	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域避難行動計画（更新含む）及び助け合いの仕組みづくりに着手するための支援の実施 全学区				

※1 地区防災カルテ

大規模災害に備え、よりきめ細やかな地域の防災活動を推進・支援していくため、地域の地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など、防災に関する情報を学区ごとにまとめたもの。

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	地域が主体となって、地域特性や活動状況を見据えた防災活動に取り組める土壌を築く必要がある。 災害時の適切な避難行動への備えを充足させるための支援が必要である。
実施結果	1 地域特性及び防災活動状況の把握 地域からの参加人数を制限はしたが、指定避難所における新型コロナウイルス感染症対策を検討するため、全学区に広げて話し合いを実施した。 2 災害（地震・風水害）時の適切な避難行動に係る計画の策定等 地域避難行動計画の策定を新規学区すべてで進めるとともに、助け合いの仕組みづくりについては、全学区に対して説明を行った。
計画目標	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域避難行動計画の策定（更新含む）及び助け合いの仕組みづくりに着手するための支援の実施 20 学区（内、新規 10 学区）
実 績	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域避難行動計画の策定（更新含む）及び助け合いの仕組みづくりに着手するための支援の実施 24 学区（内、新規 14 学区）
総 括	全学区に広げて話し合いを実施することにより、区全域において、指定避難所における新型コロナウイルス感染症対策の一定の検討が進められたが、引き続き、検討をしていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	2	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ②地域特性に応じた各種訓練の支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署		
趣 旨	「地区防災カルテ」を活用し、学区を取り巻く地域特性及び防災活動状況を踏まえて、地域ごとの実情に合わせた訓練等の防災活動を促進することで地域防災力を向上させる。				
課 題	災害時に地域の防災リーダーが取るべき行動について理解が進むよう支援をしていく必要がある。 自助・共助の機能が向上するよう、地域ごとの訓練を実施する必要がある。				
事業内容	指定避難所開設・運営訓練等 感染対策 「地区防災カルテ」を活用した話し合いで挙げられた課題を踏まえて、指定避難所や災害救助地区本部の開設・運営訓練の実施を支援する。 また、宿泊型訓練についても、地域の要望に応じて積極的に実施を促進する。 引き続き、各学区での指定避難所運営における新型コロナウイルス感染防止対策の推進を支援する。				
計画目標	- 指定避難所開設・運営訓練の実施 各学区 1 回 - 宿泊型訓練の実施 1 回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆☆）

課 題	災害時に地域の防災リーダーが取るべき行動について理解が進むよう支援をしていく必要がある。 自助・共助の機能が向上するよう、地域ごとの訓練を実施する必要がある。
実施結果	指定避難所開設・運営訓練等 全学区において、新型コロナウイルス感染症への対応を想定した指定避難所開設・運営訓練を行った。また、区独自に作製したパーテーションや簡易ベッドなどを用いた訓練を実施した。
計画目標	- 指定避難所開設・運営訓練の実施 各学区 1 回 - 宿泊型訓練の実施 1 回
実 績	- 指定避難所開設・運営訓練の実施 各学区 1 回以上 - 宿泊型訓練の実施 8 回
総 括	コロナ禍ではあるが、発災時の対応力を高めていくために、感染対策に万全を期し、引き続き、地域での防災活動の支援をしていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	3	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ③各種講習の実施等を通じた地域防災活動の支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	—		
趣 旨	「地域防災カルテ」を活用した防災活動の推進を目的として、防災講演会を開催し、防災について考えるきっかけづくりや、学ぶ機会を提供する。				
課 題	災害対策委員等に限らず、幅広い世代の方が参加してもらえる場となるような工夫が必要である。				
事業内容	1 防災講演会の開催 感染対策 地域での防災活動に有益な知識の普及と防災意識の高揚を目的とした防災講演会を実施する。 中川区の地域特性に見合った内容についても考慮する。 2 女性防災リーダー研修会の開催 感染対策 女性防災リーダーの育成を推進することで、男女共同参画の重要性にも配慮した地域での防災活動を支援する。 いずれも事前申し込み制を採用することで、人数制限及び参加者の把握を行って開催する。				
計画目標	防災講演会及び女性防災リーダー研修会の実施 各1回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆☆）

課 題	講演会に併せて家族向けの防災イベントを実施するなど、できる限り多くの方へ聴講してもらえる場となるような工夫が必要である。
実施結果	1 防災講演会の開催 令和2年度は東日本大震災から10年目という節目にあたることから、派遣職員による講話とともに3月11日（木）に実施した。 2 女性防災リーダー研修会の開催 防災講演会の内容をDVD化し、女性防災リーダーへの周知を図った。 3 過去の災害を取り上げた「マップ」「動画」を活用した啓発 各学区で行われる訓練に際し、動画を用いることでコロナ禍における指定避難所の運営方法について効果的な理解につなげた。
計画目標	・防災講演会及び女性防災リーダー研修会の実施 各1回 ・学区での訓練等の機会を捉えての「マップ」「動画」を利用した啓発
実 績	・防災講演会及び女性防災リーダー研修会の実施 各1回 ・学区での訓練等の機会を捉えての「マップ」「動画」を利用した啓発
総 括	コロナ禍ではあるが、発災時の対応力を高めていくために、感染対策に万全を期し、引き続き、地域での防災活動に有益な情報を提供していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	4	事業名	「地域防災マネジメント事業」の推進に係る 消防署との連携	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署		
趣 旨	消防署と連携し、「家庭及び地域の防災力」を詳細に捉えて、災害時に命を守る「自助」の取り組みを推進するとともに、町内会レベルで結成される「個々の自主防災組織」の活動活性化に向けた働きかけを実施する。				
課 題	災害時に命を守る自助、自主防災組織の取り組みを高めることは、避難所運営など命が守られたあとの災害対応すべての底上げに繋がるものであるため、「地区防災カルテ」による学区レベルの取り組みと並行して、町内、家庭レベルでの取り組みも確実に進めていく必要がある。				
事業内容	1 戸別訪問による防災用品を活用した意識啓発 感染対策 消防署とともに各家庭を訪問し、適切な避難行動を周知するとともに、家具転倒防止対策の実施状況の聞き取り調査を実施する。併せて防災対策を進めるきっかけとして、防災用品を配布し、家庭内における「命を守る」ための取り組みを強力に働きかけていく。 2 個々の自主防災組織への支援 感染対策 消防署が実施する、地域に密着した「個々の自主防災活動」の支援において、区役所も連携して推進する。				
計画目標	「戸別訪問」の実施 約 20,000 世帯				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：—)

課 題	災害時に命を守る自助、自主防災組織の取り組みを高めることは、避難所運営など命が守られたあとの災害対応すべての底上げに繋がるものであるが、なかなか進んでおらず、中期的な支援が必要である。 地区防災カルテ」による学区レベルの取り組みと並行して、町内、家庭レベルでのボトムアップの取り組みを進めることが必要である。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から戸別訪問を中止した。
計画目標	「戸別訪問」の実施 約 20,000 世帯
実 績	「戸別訪問」の実施 0 世帯
総 括	災害時に命を守る取り組みを進めていくために、消防署と連携し、感染対策に万全を期し、出来る限り実施の方向で調整していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	5	事業名	災害対応体制の強化	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署ほか		
趣 旨	名古屋市災害対策本部の「区本部」として、市はもとより各関係機関と連携して迅速かつ強力な災害対応にあたるために体制の強化を図る。				
課 題	体制強化に向けたより効果的な訓練や会議の内容を検討していく必要がある。				
事業内容	1 災害対応図上訓練（D I G）の実施 感染対策 区本部機能強化を目的に、関係公署（所）に加えライフライン事業者の協力も得て、実効的な災害対応図上訓練（D I G）を実施する。 2 関係機関との連携訓練の実施 感染対策 地震及び風水害に対応した総合的な訓練として、出水期前の5月には総合水防訓練、防災週間となる9月には総合防災訓練を実施し、関係機関及び災害救助地区本部との連携強化に努める。 実施にあたっては、地域の協力のもと、参加者の把握を徹底するなどの工夫をして実施する。 また、区医師会等との協働による災害時医療救護所開設・運営訓練、区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークとの協働による災害ボランティアセンター開設・運営訓練を実施する。 3 防災安全調整会議実務者会議の開催 感染対策 区本部と関係公署（所）、ライフライン事業者との連携体制を構築するため、情報共有の範囲と方法についてまとめるなど、連携強化に係る課題解決に向けた検討を行う。				
計画目標	・災害対応図上訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練及び災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施 各1回 ・防災安全調整会議実務者会議の開催 1回以上				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆）

課 題	訓練や会議によって明るみとなった課題に対しては、できるだけ速やかに効果的な対策を講じる必要がある。
実施結果	1 災害対応図上訓練（D I G）の実施 2月25日（木）に職員の初動対応を想定した訓練を実施した。 2 関係機関との連携訓練の実施 総合水防訓練、総合防災訓練及び災害時医療救護所開設・運営訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したが、地域住民への周知協力、水防注意箇所の現場対応訓練並びに職員に対してのシェイクアウト訓練を始め、開庁日における地震発生時の初動対応及び備蓄物資の確認訓練を行った。 災害ボランティアセンター開設・運営訓練は、代替として必要な資材をボランティア団体、社会福祉協議会の3者で検討し配備した。 3 防災安全調整会議実務者会議の開催（書面） コロナ禍における災害時の対応の変化などの情報を共有した。
計画目標	・災害対応図上訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練及び災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施 各1回 ・防災安全調整会議実務者会議の開催 3回以上
実 績	・災害対応図上訓練、災害ボランティアセンター開設・運営訓練 各1回 ・総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練 0回 ・防災安全調整会議実務者会議の開催 1回
総 括	中止とした事業については、各種代替事業を行ったが、感染対策に万全を期し、出来る限り実施する方向で調整していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

【区特性に応じたまちづくり事業】

No.	6	事業名	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト ～子どもを守るつながりづくり～ 子どものいのちを守る子育て防災対策事業		区分	拡充
担当課	総務課		関係部署（所）	民生子ども課		
趣 旨	南海トラフ地震や風水害等の大規模災害から子どものいのちを守るために、愛知県立大学と協働して正色保育園をモデル保育所とした防災対策を策定・検証し、在宅の子育て家庭に対してセミナー等を開催する。					
課 題	災害弱者といわれる高齢者・障害者などへの横展開や、現状の地域における災害対策への広がりをどのようにして図っていくか検討していく必要がある。					
事業内容	前年度に愛知県立大学と連携して作成した「子どものいのちを守る避難マニュアル」を活用して、以下の事業を行う。 1 防災対策セミナーの開催 感染対策 区内の子育てサロン及び地域子育て支援拠点において、在宅の子育て家庭を対象とした防災対策セミナーを実施する。 2 学区防災対策研修の開催 感染対策 モデル保育所の所在する学区住民を対象とした防災対策研修を実施する。					
計画目標	防災対策セミナー及び学区防災対策研修の実施 1回以上					

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：—)

課 題	災害弱者といわれる高齢者・障害者などへの横展開や、現状の地域における災害対策への広がりをどのようにして図っていくかを検討する必要がある。
実施結果	・モデル保育所（正色保育園）における避難マニュアル作成にかかる研修を実施するとともに、モデル保育所及び子育て支援拠点へ避難用グッズを配備した。 ・他の保育所等の施設への研修会及び子育て家庭等への防災セミナーは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	在宅の子育て家庭向け防災セミナーの実施 1回
実 績	在宅の子育て家庭向け防災セミナーの実施 0回
総 括	コロナ禍ではあるが、次年度以降の子育て家庭及び地域向けセミナーを、感染対策に万全を期し、出来る限り実施する方向で調整していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	7	事業名	防災協力農地の登録・周知の推進	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署（所）	—		
趣 旨	大規模災害が発生した時に、一時避難空間や災害復旧用資材置場、火災延焼を防ぐオープンスペースとして活用できる防災協力農地の登録と周知を推進する。				
課 題	区内の防災協力農地の登録件数が不足しているため、周知を図る必要がある。				
事業内容	1 受付窓口での案内 生産緑地の追加指定や特定生産緑地の申請の際など、農地所有者に窓口で防災協力農地の説明を行い、防災協力農地登録の協力を仰ぐ。 2 特定生産緑地説明会での周知 特定生産緑地の説明会において、防災協力農地の制度の説明も併せて行い、農地所有者に防災協力農地の登録を呼びかける。				
計画目標	防災協力農地の年度末登録数 50 か所以上				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課 題	農地の所有者に防災協力農地制度について理解を得る必要がある。
実施結果	1 受付窓口での案内 生産緑地の追加指定や特定生産緑地の申請の際など、農地所有者に窓口で防災協力農地の説明を行った。 2 特定生産緑地説明会での周知 令和2年12月14日に開催した特定生産緑地説明会で59名の参加者に防災協力農地の制度の説明も併せて行い、農地所有者に防災協力農地の登録の呼びかけを行った。
計画目標	防災協力農地の年度末登録数 35 か所以上
実 績	防災協力農地の年度末登録数 46 か所
総 括	防災協力農地の登録数は農地所有者の死亡等の事情により取り消される可能性があるため、引き続き登録の呼びかけを積極的に行う必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	8	事業名	防犯対策の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨	啓発キャンペーンや犯罪発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区内における防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。				
課 題	より多くの方の意識向上につながるよう、また、効率的・効果的に啓発できるよう企画し、実施する必要がある。				
事業内容	1 啓発キャンペーン等の実施 感染対策 （1）年4回の生活安全市民運動期間を中心に、防犯に対する意識向上を図るため、青色防犯パトロールによる広報活動や啓発キャンペーン等を実施する。 （2）自転車盗難防止対策として、自転車通学が認められている区内2中学校及び3高校の代表生徒による「自転車ツーロック宣言」の実施とともに、1年生を対象にツーロックの啓発を行う。 〔実施時期〕 令和3年7月（仮） 〔場 所〕 区役所講堂（仮） 2 犯罪発生状況に応じた啓発活動の実施 感染対策 （1）警察署との連携や犯罪予測 AI を活用して、犯罪発生状況や犯罪予測に基づく青色防犯パトロールによる広報活動を実施する。 （2）区内3高校及び警察署との協働により、区内で多発している犯罪の抑止に向けた啓発キャンペーンを実施する。 〔実施時期〕 令和3年10月～12月（仮） 〔場 所〕 区内の主要交差点やスーパーマーケット等の集客施設				
計画目標	・青色防犯パトロールによる広報活動の実施 区内全学区 ・区内3高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 3回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆）

課 題	より多くの方に効率的・効果的に啓発できる方法を企画し実施する必要がある。				
実施結果	1 啓発キャンペーン等の実施 地域住民及び警察署とともに、区内で多発した特殊詐欺等の被害防止啓発キャンペーンを各所で実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、広報車を活用したほか、手袋を使用することや、活動者が距離をとって横断幕を掲げるなど不特定多数との接触を回避した。 また、コロナ禍において協力いただいた区内2高校の生徒とともに集客施設で啓発キャンペーンを実施し、若年層の防犯意識の向上を図った。 2 自転車盗難防止対策の推進 感染拡大防止のため、自転車ツーロック宣言式は中止したが、参加予定校の中高生が作成した防犯啓発音源を青色防犯パトロール時に活用した。				
計画目標	区内3高校と連携した啓発キャンペーンの実施 各校1回				
実 績	区内3高校と連携した啓発キャンペーンの実施 2回				
総 括	令和2年中の区内の刑法犯認知件数は1,270件と、前年より262件減少した。中高生が作成した音源を活用して青色防犯パトロールを行ったことで、若年層への意識啓発や幅広い世代の区民への啓発活動を実施することができた。引き続き、犯罪抑止に向けてより多くの方に効率的・効果的な啓発をする必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	9	事業名	地域における自転車パトロールの推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		自転車による自主的及び日常的な防犯パトロール活動の推進を通じて、区内における防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。			
課 題		より多くの隊員で自転車を活用して自主的及び日常的にパトロール活動を実施できるよう、隊員数を増加させる必要がある。			
事業内容		1 自転車パトロール隊の結成 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和3年10月（仮） [場 所] 区役所講堂（仮） [内 容] 住宅対象侵入盗などの主要犯罪が多発している学区を対象に自転車パトロール隊を結成し、地域において自転車による自主的及び日常的な防犯パトロール活動を推進する。 [過去実績] 令和元年度 野田学区 35名 令和2年度 中島学区 50名 2 活動状況アンケートの実施 前年度に結成した自転車パトロール隊を対象としたアンケートを実施し、活動状況や自転車パトロール隊に対する意見を聴取する。			
計画目標		自転車パトロール隊新規隊員数 50名			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	自転車パトロール隊結成後の自主活動の内容を把握し、効果検証をする必要がある。
実施結果	1 自転車パトロール隊の結成 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学区の夜間防犯パトロールの実施前の時間を活用し、区役所講堂ではなく屋外で結団式を実施した。 2 活動状況アンケートの実施 令和元年度に結成した野田学区自転車パトロール隊を対象に活動状況アンケートを実施し、回収率は91.4%であった。
計画目標	自転車パトロール隊結団式参加者数 40名
実 績	自転車パトロール隊結団式参加者数 50名
総 括	活動状況アンケートによると、62.5%の方が週1回以上のパトロールを実施しており、また、56.3%の方の防犯意識が向上したことが判明した。引き続き、地域における防犯意識の向上に向けて隊員数を着実に増加させていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	10	事業名	交通安全対策の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		啓発キャンペーンや交通安全教室の実施、交通事故発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区内における交通安全意識を高め、地域における交通安全活動の盛り上げを図ることで交通事故の抑止につなげる。			
課 題		より多くの方の意識向上につながるよう、また、効率的・効果的に啓発できるよう企画し、実施する必要がある。			
事業内容		1 啓発キャンペーン等の実施 感染対策 （1）年4回の交通安全市民運動期間を中心に、交通安全に対する意識向上を図るため、啓発キャンペーン等を実施する。 （2）保育園児及び小中学生を対象とした交通安全教室や、地域のふれあい給食会における高齢者向け交通安全講話を実施する。 （3）中川区マスコットキャラクター「ナッピー」がヘルメットを着用しているイラスト付の反射材を小学校新入学児童の保護者へ配布し、ヘルメットの購入と反射材の着用を促進する。 2 交通事故発生状況に応じた啓発活動の実施 感染対策 交通事故が多く発生している学区を交通安全強化学区として選定し、学区住民や警察署と連携した啓発活動を実施する。			
計画目標		- 交通安全教室の実施 区内全学区 - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆ ）

課 題	より多くの方に効率的・効果的に啓発できる方法を企画し、実施する必要がある。
実施結果	1 啓発キャンペーン等の実施 地域住民及び警察署とともに、交通事故の防止に向けた啓発キャンペーンを各所で実施した。特に交通死亡事故が発生した場所において、ドライバーや歩行者への指導・啓発等を重点的・継続的に実施した。また、豊治学区を交通安全強化学区として選定し、主要交差点において小学生の見守り活動を実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、広報車を活用したほか、活動者が距離をとってサインボードを掲げたり手袋を使用したりして不特定多数との接触を回避した。 2 交通安全教室の実施 新型コロナウイルス感染症拡大による小学校の休校や高齢者ふれあい給食会の中止等により、予定していた多くの交通安全教室が中止となった。
計画目標	交通安全教室の実施 90回
実 績	交通安全教室の実施 24回
総 括	令和2年中の区内の交通事故発生件数は760件と、前年より152件減少した。交通死亡事故発生場所や交通安全強化学区など重点箇所を設けることで、効果的な啓発活動を実施することができた。引き続き、交通事故抑止に向けてより多くの方に効率的・効果的な啓発をする必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	11	事業名	地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業		区分	継続
担当課	地域力推進室		関係部署（所）		警察署	
趣 旨	子ども自身が交通安全宣言を行うことで交通安全意識を高めるとともに、地域住民による見守り活動を推進することで子どもの交通事故の抑止につなげる。					
課 題	交通安全見守り出発式及び交通安全宣言の実施について、関係部署等と調整をする必要がある。					
事業内容	1 小学生による交通安全宣言の実施 感染対策 [実施時期] 令和3年8月～9月（仮） [実 施 校] 区内6小学校（令和2年度～5年度の4年間で全24小学校にて実施予定） [内 容] 交通安全見守り出発式等を開催し、小学校の代表児童による交通安全宣言を行うとともに、児童を見守っていただく地域の方へ交通安全横断旗を配布する。 実施に当たっては、映像設備・学校だよりの活用や参加人数の制限など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じる。 2 地域住民による見守り活動の実施 感染対策 出発式等で配布した交通安全横断旗を活用し、地域住民が日常的に小学生の登下校時の見守り活動を行う。					
計画目標	地域住民による見守り活動の実施 6学区					

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆）

課 題	交通安全宣言の実施について、関係部署等と調整をする必要がある。
実施結果	1 小学生による交通安全宣言の実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4校においては映像設備を活用しての全校生徒への周知、代表児童のみの参加による交通安全見守り出発式の実施にて、交通安全宣言を行った。 一方、コロナ禍において出発式・交通安全宣言の実施ができなかった2校においては、小学校を通じて全校生徒への周知及び地域住民への横断旗の配布を行った。 2 地域住民による見守り活動の実施 対象の6学区において、地域住民による日常的な小学生の登下校時の見守り活動を行った。
計画目標	小学生による交通安全宣言の実施 6校
実 績	小学生による交通安全宣言の実施 4校
総 括	コロナ禍において、小学校の状況にあわせて柔軟に対応することにより、様々な方法で全校生徒に周知することができた。引き続き、感染拡大防止に配慮し、関係部署等と調整の上で実施する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	12	事業名	自転車乗車時のヘルメット着用推進	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	警察署		
趣 旨	「自転車ヘルメット広め隊」による啓発活動を通じて、自転車乗車時のヘルメット着用に対する意識を高め、自転車の交通死亡事故の抑止につなげる。				
課 題	より多くの方が、自転車を乗車する際に日常的にヘルメットを着用するようになるよう企画し、実施する必要がある。				
事業内容	1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 感染対策 [実施時期] 令和3年7月（仮） [内 容] 自転車に乗車する高齢者にヘルメット着用を促す啓発グループ「自転車ヘルメット広め隊」の隊員を募集し、隊員委嘱式を実施する。併せて、ヘルメットの着用や自転車の安全利用について周囲の方々に日常的に呼びかけをするよう依頼する。 [委嘱人数] 平成30年度 48名 令和元年度 24名 令和2年度 20名 2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 感染対策 [実施時期] 令和3年12月（仮） [内 容] 区内の主要交差点や集客施設において、「自転車ヘルメット広め隊」による高齢者の自転車乗車時のヘルメット着用を促進する啓発キャンペーンを実施する。				
計画目標	自転車ヘルメット広め隊隊員数（累計） 120名				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	より多くの方に効率的・効果的に啓発できる方法を企画し、実施する必要がある。
実施結果	1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を20名に制限して交通安全講話を行い、隊員委嘱式を実施した。 2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 区内の集客施設において、警察署及び「自転車ヘルメット広め隊」の隊員10名とともに啓発キャンペーンを実施した。
計画目標	自転車ヘルメット広め隊隊員数（累計） 100名
実 績	自転車ヘルメット広め隊隊員数（累計） 92名
総 括	参加人数を制限するなど感染対策を講じるとともに、自転車シミュレータを活用した啓発キャンペーンを実施したことで、参加者が楽しみながら自転車乗車時の注意点について学ぶことができた。引き続き、より多くの方のヘルメット着用に対する意識向上に向けて効果的な啓発をする必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	13	事業名	クリーンキャンペーンの実施	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	環境事業所、土木事務所		
趣 旨	地域住民・ボランティア・事業所等と協働して道路や公園などの清掃活動を実施することで、参加者の「町を美しくする運動」への理解を深め、快適で住みやすい地域づくりにつなげる。				
課 題	地域住民等の「町を美しくする運動」への理解が深まるよう企画し、実施する必要がある。				
事業内容	・クリーンキャンペーンの実施 感染対策 〔実施時期〕 開催時期未定 〔場 所〕 区内で1つの中央会場及び各学区 〔内 容〕 全市一斉クリーンキャンペーンにあわせ、地域住民・ボランティア・事業所等と協働して道路や公園などの清掃活動を実施する。実施に当たっては、小規模となるよう複数会場で実施している学区を中央会場に選定し、参加者を分散させる等の感染防止対策を講じる。				
計画目標	クリーンキャンペーンの実施 区内全学区				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：—）

課 題	より多くの方が参加し、「町を美しくする運動」への理解が深まるよう企画し、実施する必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	クリーンキャンペーンの実施 区内全学区
実 績	クリーンキャンペーンの実施 区内0学区
総 括	令和2年3月下旬の時点で、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、6月の開催予定時点での収束状況等が不透明であることから全市的に中止とした。 今後はコロナ禍において全市一斉クリーンキャンペーンが中止となった場合でも、区独自で地域住民とともに清掃活動を実施できるよう、感染対策や準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	14	事業名	空地・空家等の適切な管理の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	中村保健センター、土木事務所、環境事業所、消防署	
趣 旨	管理の不適切な空地・空家及び堆積物により不良な状態にある住居の所有者等に適切な管理を依頼することで、快適で住みやすい地域づくりにつなげる。				
課 題	依頼に応じない所有者等に対し、関係部署と連携して再依頼するなど、依頼方法を検討する必要がある。				
事業内容	1 空地の適切な管理 空地の雑草等に関する近隣住民等からの申し出により実地調査を行い、管理の不適切な空地の所有者や管理者に適切な管理を依頼する。 2 空家の適切な管理 感染対策 区空家等対策会議を開催して関係部署で情報を共有するとともに、連携して管理の不適切な空家等の所有者等に適切な管理を依頼する。 3 堆積物により不良な状態にある住居の適切な管理 感染対策 関係部署で情報を共有するとともに、連携して堆積物により不良な状態にある住居の所有者等に適切な管理を依頼する。				
計画目標	区空家等対策会議の開催 4回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課 題	依頼に応じない所有者等に対し、関係部署と連携して再依頼するなど、依頼方法を検討する必要がある。
実施結果	1 空地の適切な管理 速やかに実地調査を行い、管理の不適切な空地の所有者や管理者に適切な管理を依頼した。 過去に申し出のあった空地・空家等についても、定期的に実地調査をするなど現状把握をするとともに、改善していない空地・空家等の所有者等に改めて依頼をしたことにより、複数の箇所が改善された。 2 空家の適切な管理 区空家等対策会議を定期的に開催し、関係部署で情報共有を行うとともに、対応方法を協議した。 3 堆積物により不良な状態にある住居の適切な管理 関係部署による打合せを随時実施し、情報共有を行うとともに、対応方法を協議した。
計画目標	区空家等対策会議の開催 3回
実 績	区空家等対策会議の開催 4回
総 括	今後も実地調査を適切に行うとともに、関係機関と連携の上で所有者等に継続的に依頼をしていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	15	事業名	ペットと暮らす快適なまちづくり運動の推進	区分	継続
担当課		保健センター健康安全課	関係部署（所）	—	
趣 旨		犬猫の飼主等を対象に、飼い方などに関する個別の指導を行うとともに、ペットの災害対策の視点から日頃のしつけの重要性についても啓発していく。また、看板など啓発資材の作成・配布、キャンペーンや巡回パトロールなどの様々な啓発活動を実施することにより、犬猫とともに暮らす快適なまちをめざす。			
課 題		犬猫の飼主等に対し、マナーを守ることの必要性を認識してもらうためには粘り強く啓発していくしかないが、そのためには様々な機会・方法でマナーの大切さを訴えていくことが必要である。			
事業内容		1 犬猫の飼主等への指導・助言 感染対策 個別の苦情・相談については飼主等への指導・助言を実施する。さらに、名古屋市動物愛護推進員と連携し、防災訓練や区民まつり等市民と接する機会を通じて、ペットの災害対策の一環として日頃のしつけの重要性を啓発する。 2 キャンペーン・巡回パトロール等の啓発活動 感染対策 地域住民の協力による啓発キャンペーンや巡回パトロール活動、区民まつり等の機会を活用した啓発活動、犬のフンの持ち帰りや猫に対する無責任な餌やり防止等に関するチラシの回覧、看板など啓発資材の作成・配布等を実施する。 3 用具等の貸出、補助券の交付等 猫忌避装置の貸出や犬猫用名札の配布、避妊・去勢・マイクロチップ装着の補助券の交付、のら猫対策活動の支援及び周知等を実施する。			
計画目標		キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 22回			

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課 題	マナーの悪い犬猫の飼主等に対し、マナーを守ることの必要性を認識してもらうためには、粘り強く啓発していくしかないが、そのためには様々な機会・方法でマナーの大切さを訴えていくことが必要である。
実施結果	1 犬猫の飼主等への指導・助言 個別の苦情相談に対応したほか、狂犬病予防集合注射会場において中止を知らずに来場した飼主に対し適正飼養を啓発した。防災訓練や区民まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 2 キャンペーン・巡回パトロール等の啓発活動 住民と協働実施のキャンペーンや啓発パトロールは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。その代替として職員による苦情の多い地域の巡回パトロールを実施した。また、地域の要望に応じて啓発用看板等の作成・交付及びチラシの回覧を実施した。 3 用具等の貸出、補助券の交付等 猫忌避装置貸出、犬猫用名札の配布、各種補助券の交付及びのら猫対策活動の支援及び周知等を実施した。
計画目標	キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 22回
実 績	キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 22回
総 括	防災訓練や区民まつりに限らず、様々な機会を通じて指導や助言、啓発活動を継続していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	16	事業名	子育て支援に関する情報発信	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	紙及び電子媒体による乳幼児向けのイベントなど最新の子育て支援情報入手しやすい環境を整えることで、在宅の子育て家庭等の孤立化を防ぐ。				
課 題	子育て家庭にとって必要な情報のニーズの変化を把握する必要がある。				
事業内容	1 子育て情報チラシ等の作成及び提供 チラシやサポートマップ、カレンダー等を作成し、子育て関係機関等に提供する。 2 ウェブサイトを活用した子育て情報の発信 区独自のホームページ子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の運用を行う。 3 区役所の子育て情報コーナーにおけるチラシ等の配架 子ども連れの来庁者に子育て情報を提供するキッズコーナー「すまいる」に配架する。 4 保育案内人の出張相談 感染対策 子育てサロン、地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等の利用を希望する保護者に対する出張相談を実施する。 新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで実施するが、対面が難しい場合は、オンラインでの実施とする。				
計画目標	保育案内人の出張相談 24件				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課 題	子育て家庭にとって必要な情報のニーズの変化を把握する必要がある。
実施結果	1 子育て情報チラシ等の作成及び提供 コロナ禍で一時休止していたカレンダーは7月より作成を再開し、4月現在・10月現在のサポートマップを年2回作成した。 2 ウェブサイトを活用した子育て情報の発信 区内の子育て情報を見やすいように掲載し、毎月内容の更新を行った。 3 区役所の子育て情報コーナーにおけるチラシ等の配架 子育てサロンや子育て支援拠点の情報などについて毎月配架を行った。 4 保育案内人の出張相談 子育てサロンに8回、子育て支援拠点に13回出張相談を行った。
計画目標	子育て支援情報サイト「なかがわっ子」における掲載情報のニーズ調査の実施
実 績	子育て支援情報サイト「なかがわっ子」における掲載情報のニーズ調査 1回
総 括	子育て情報チラシ等の作成及び提供と保育案内人の出張相談は、今後はコロナ禍でも実施が可能なよう、事業の見直しや感染対策の準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	17	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		面接や家庭訪問をとおして育児や家庭に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。			
課 題		一人ひとりのニーズに応じた支援ができるよう、関係機関とも連携し、適切なサービスにつなげていく必要がある。			
事業内容		1 妊婦面接の実施 感染対策 保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施し、安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援する。 2 新生児・乳児訪問の実施 感染対策 出生報告を提出された新生児・乳児と産婦、その家族を対象に、3（4）か月児健診までに保健師・助産師が家庭訪問で相談にのることにより、育児不安の軽減を図り安心して育児に取り組めるよう支援する。			
計画目標		・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆☆）

課 題	一人ひとりのニーズに応じた支援ができるよう、関係機関とも連携し、適切なサービスにつなげていく必要がある。
実施結果	1 妊婦面接の実施 安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援するために、保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施した。 2 新生児・乳児訪問の実施 産婦やその家族が育児不安の軽減をはかり安心して育児に取り組めるよう、保健師・助産師が、出生報告を提出された家庭に3（4）か月児健診までの間に家庭訪問を実施した。
計画目標	・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%
実 績	・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 96%
総 括	妊婦面接は100%できており、妊娠期からの支援をすることができた。新生児・乳児訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期里帰りする方や訪問拒否をされる方もみられた。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した訪問の実施と支援方法の検討をしつつ、実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	18	事業名	乳幼児健診時に本に親しむ機会の提供	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	民生子ども課、中川図書館、 富田図書館、社会福祉協議会		
趣 旨	子どもと保護者が絵本を介して楽しいひとときを持つきっかけとなるように、 絵本の紹介をし、子どもの健やかな成長を支援する。				
課 題	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和３年度は図書館が行っている絵 本の読み聞かせを実施しないことになったため、読み聞かせ以外の方法で、絵 本に興味を持ってもらうようにする必要がある。				
事業内容	・ 3(4)か月児健診時 感染対策 健診後に保健センターのスペースで図書館職員とボランティアが、絵本の 紹介をし、絵本をプレゼントする「中川区ブックスタート事業」を行い、親 子のふれあいや子どもたちが本に親しむ機会を提供する。				
計画目標	保健センター19回 分室 16回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課 題	「ブックスタート事業」は財源に限りがあるため、令和3年度以降にむけて持続可能な方法を検討する必要がある。
実施結果	1 3(4)か月児健診(4月16日から5月29日までは健診中止) 4月、6月から10月は実施した。 11月から3月は保健センターで健診を実施していないため、未実施。 2 1歳6か月児健診時(4月16日から6月30日までは健診中止) 4月、10月から3月は実施した。 7月から9月は中止した。 「中川区ブックスタート事業」については、令和3年度は今まで通りの方法で実施することになった。令和4年度以降については別の持続可能な方法を検討し、準備することになった。
計画目標	・3(4)か月児健診時 保健センター20回 分室17回 ・1歳6か月児健診時 保健センター16回 分室12回
実 績	・3(4)か月児健診時 保健センター11回 分室9回 ・1歳6か月児健診時 保健センター10回 分室8回
総 括	健診の中止に伴い、回数は計画目標の半分ほどに留まったが、感染対策をとり実施した。令和3年度も、感染対策をとりできる限り実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	19	事業名	子育て支援講座の開催	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	中川児童館		
趣 旨	子育て支援講座を開催し、親自身が子どもとのかかわり方などについて学ぶことにより、子育てに関する不安を軽減させるとともに、支援が必要な家庭を把握し、地域の子育て支援につなげていく。				
課 題	より多くの方に参加していただくため、企画・広報を充実させる必要がある。				
事業内容	1 スターペアレンティング講座の開催 感染対策 「中川子育てネットワーク※」が子ども・子育て支援センターとの共催事業として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶ講座を開催する。 2 フレッシュママの子育て入門の実施 感染対策 0歳児の特性や生活リズムを学ぶとともに、ふれあいリトミックや、ベビーマッサージによる親子のふれあいを行うことにより、第1子を抱える母親が子どもに対する愛情を再確認するきっかけを提供する。 いずれも新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで開催するが、対面が難しい場合は、オンラインでの開催とする。				
計画目標	・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 6回				

※中川子育てネットワーク

区役所を中心に区内の関係機関や団体が、地域における子育て支援の促進を目的として相互に連携・協力し、講座やイベント、情報発信や支援者の育成などを行う。

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：☆)

課 題	より多くの方に参加していただくため、企画・広報を充実させる必要がある。				
実施結果	1 スターペアレンティング講座の開催 2月2日、9日、16日にオンラインにて開催した。 2 フレッシュママの子育て入門の実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。				
計画目標	・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 6回				
実 績	・スターペアレンティング講座の開催 3回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 0回				
総 括	フレッシュママの子育て入門は、対面での講座が原則だが、状況によってはオンラインでの開催を行う必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	20	事業名	若年の親や発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		若年の親や発達に遅れのある子どもの親が、教室やグループ活動をとおして、正しい知識を持ち、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。			
課 題		若年の親対象の教室の参加者が少ないため、参加勧奨や内容等の工夫が必要である。 また、発達に遅れのある子どもをもつ親のグループは、中心となる親に継続的に参加していただくように努める必要がある。			
事業内容		1 ママともクラブ 感染対策 [対象] 10代から22歳までの就園前の子どもの母および妊婦 [内容] 親子遊び、子育ての話、子育て相談など 2 パンダグループ 感染対策 [対象] 発達に遅れのある子どもの親 [内容] 交流会、勉強会、講演会などを、数人のリーダーママを中心に実施			
計画目標		・ママともクラブの開催 2回 ・パンダグループの開催 7回			

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：☆)

課 題	若年の親対象の教室の参加者が少ないため、参加勧奨の工夫が必要である。 また、発達に遅れのある子どもをもつ親のグループは、中心となる親に継続的に参加していただくように努める必要がある。
実施結果	1 ママともクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、個別支援で対応をした。 2 パンダグループ 発達に遅れのある子どもの親を対象に、リーダーママを中心として交流会を実施した。
計画目標	・ママともクラブの開催 4回 ・パンダグループの開催 9回
実 績	・ママともクラブの開催 0回（代替あり） ・パンダグループの開催 5回
総 括	ママともクラブにおいては令和2年度は開催できなかったため、感染対策をとり、子どもへの関り方を知ることを中心とした内容で開催していきたい。 パンダグループにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止していたが、7月から感染対策をとり交流会のみ実施した。 令和3年度は感染対策をとり、講演会等も実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	21	事業名	子育て家庭向け交流イベントの開催	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	区内数か所においてイベントを開催し、子育て家庭同士の交流を深めたり、子育てサロンや地域子育て支援拠点などによる支援につなげることにより、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。				
課 題	イベントへの参加をきっかけに地域の子育て支援へと円滑につないでいくための方策を検討する必要がある。				
事業内容	・子育て家庭向け交流イベントの開催 感染対策 区内の子育て関係機関や活動団体で構成する「中川子育てネットワーク」主催による子育て家庭向け交流イベントを区域ごとに実施する。 ①区内東部（露橋スポーツセンター） あそびの出前①「親子でぎったんぱっこん」（6月）の開催 ②区内中央（区役所講堂） なかがわキッズフェア（10月）の開催 ③区内西部（富田北プール） あそびの出前②「中川子育てハッピーランド」（1月）の開催				
計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：—）

課 題	イベントへの参加をきっかけに地域の子育て支援へと円滑につないでいくための方策を検討する必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3回
実 績	子育て家庭向け交流イベントの開催 0回
総 括	令和2年度は大人数が集まるイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が難しい状況であった。今後もコロナ禍での、感染対策や開催方法などについて検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	22	事業名	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	子育て支援の担い手となるボランティア「なかがわっ子サポーター」を養成し、子育てサロンや子育て家庭の交流イベント等の活動の場を提供することで、地域での継続的な子育て支援活動を促進する。				
課 題	サポーターの質の向上及び活動内容の魅力向上とともに、地域の子育て支援の担い手の活動場所としての受け皿を確保する必要がある。				
事業内容	1 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 感染対策 中川区独自の取り組みとして、地域での子育て支援活動の担い手を養成するための講座を開催する。 2 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 感染対策 「なかがわっ子サポーター」としてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付けるための講座を開催する。 3 なかがわっ子サポーターの活動の場の確保・活動支援 感染対策 「なかがわっ子サポーター」が、地域で子育て支援活動を行うための場の確保やあっせんを行う。 4 区内3高校との連携による「なかがわっ子高校生サポーター」事業の実施 感染対策 高校生の段階から乳幼児やその家庭との関わり方を学ぶことにより、若年層による地域での子育て支援の機運を醸成する。 いずれの事業とも、新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで開催するが、対面が難しい場合は、オンラインでの開催とする。				
計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 243 件				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：☆)

課 題	サポーターの質の向上及び活動内容の魅力向上とともに、地域の子育て支援の担い手の活動場所としての受け皿を確保する必要がある。
実施結果	・ なかがわっ子サポーター養成講座、なかがわっ子サポーターステップアップ講座、なかがわっ子高校生サポーター事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 ・ なかがわっ子サポーターについては、子育てサロン、子育てイベントの中止が相次ぐ中、一定の活動ができた。
計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 216 件
実 績	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 16 件
総 括	今後はコロナ禍でも開催が可能なよう、事業の見直しや感染対策の準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	23	事業名	地域の子育てサロンの運営支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	保健センター保健予防課 中島保育園（エリア支援保育所）		
趣 旨	区役所や保健センター、エリア支援保育所等が協働し、保育士や保健師、保育案内人の派遣、大型絵本や遊具の貸し出しなどにより、地域の子育てサロンの運営を支援し、子育てサロン事業の活性化を図る。				
課 題	最も身近な存在である地域の子育てサロンの魅力をより向上させる必要がある。				
事業内容	1 専門職の派遣 感染対策 エリア支援保育所等の保育士や保健センターの保健師、保育案内人の専門職を派遣することにより、各種講座の開催や子育てに係る相談を実施する。新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで実施するが、対面が難しい場合はオンラインでの実施とする。 2 子育て支援物品の貸し出し 感染対策 子育てサロン事業の活性化を図るため、大型絵本をはじめとする子育て支援物品の貸し出しを実施する。				
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆）

課 題	最も身近な存在である地域の子育てサロンの魅力をより向上させる必要がある。
実施結果	1 専門職等の派遣 派遣回数 ・保育士 子育てサロン：29 回 ・保健師 27 回 ・保育案内人：子育てサロン：8 回 子育て支援拠点：13 回 2 子育て支援物品の貸し出し 貸し出し件数：区役所 44 件 5 月までは全学区で子育てサロンを中止した。6 月以降の開催は子育てサロンごとの判断とした。
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件
実 績	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 121 件
総 括	令和2年度は学区の子育てサロンも学区によって開催状況が異なる状況で、例年よりも開催日数が少ない状況であった。 今後はコロナ禍でも開催が可能なよう、事業の見直しや感染対策の準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	24	事業名	児童虐待防止の推進・啓発	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課 西部児童相談所		
趣 旨	児童虐待の発生予防や早期発見などの適切な対応を図るため、「なごやこどもサポート中川区代表者会議」をはじめとする連絡会議や、区独自の「児童虐待情報データベースシステム」などを活用し、関係機関による情報 共有等の連携を強化する。				
課 題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、引き続き児童虐待が増加することが懸念されるため、より一層の関係機関連携が必要となる。				
事業内容	1 要保護児童対策地域協議会の開催 感染対策 ・ 関係機関の代表者が構成員となっている「なごやこどもサポート中川区代表者会議」を年1回開催する。 ・ 要保護児童等の情報共有及び連携支援を行うため、「中川区実務者会議」を月1回開催する。 ・ 個別ケースを検討するため「サポートチーム会議」を随時開催する。 2 児童虐待情報データベースシステムの活用 関係機関の情報共有・連携支援の強化による各機関の対応状況を見据えた支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を行う。 3 児童虐待防止の広報・啓発活動 感染対策 「名古屋市児童を虐待から守る条例」に基づく5月と11月の児童虐待防止推進月間において、オレンジリボンキャンペーン活動を実施する。				
計画目標	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課 題	児童虐待情報データベースシステムの安定的な運用及び全区展開
実施結果	1 要保護児童対策地域協議会の開催 実務者会議、サポートチーム会議は時間を短くするなど感染対策を取った上で実施した。代表者会議は書面開催とした。 2 児童虐待情報データベースシステムの活用 安定かつ効率的なシステム運用を図るため、機器更新契約を実施した。 3 児童虐待防止の広報・啓発活動 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年11月に実施していた児童虐待防止映画鑑賞会を中止し、啓発グッズの配布も1日のみに限定した。
計画目標	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間
実 績	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間
総 括	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オレンジリボンキャンペーン活動はオンラインを活用して実施するなど、工夫が必要である。

1. 令和3年度事業内容等

No.	25	事業名	キッズコーナー「すまいる」	区分	継続
担当課	民生子ども課		関係部署（所）	—	
趣 旨	子どもが遊べるコーナーや子育て情報コーナーを設置し、子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースを提供する。				
課 題	来庁者にとってキッズコーナーをより利用しやすくするための環境づくりをする必要がある。				
事業内容	1 なかがわっ子サポーターによる子育て情報案内（9～12月） 感染対策 月に2～3回、試験的に実施。民生子ども係窓口で手続きの待ち時間に親子への情報提供やキッズコーナーの消毒を行う。 2 子育て支援情報チラシ等の配架 子育てサロンや地域子育て支援拠点などの情報チラシを配架し、区内の子育て支援情報を入手しやすい環境をつくる。				
計画目標	キッズコーナーでのなかがわっ子サポーター活動人数 24人				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆）

課 題	来庁者にとってキッズコーナーをより利用しやすくするための環境づくりをする必要がある。
実施結果	1 子どもが安心して遊ぶことができるコーナーの設置 キッズコーナーは感染対策のため4月から閉鎖したが、11月からおもちゃや絵本の利用を制限し再開した。キッズコーナー前に椅子を設置し、順番を待っている保護者や子どもが座るスペースとした。 2 子育て支援情報チラシ等の配架 配架コーナーの前にアルコール消毒液を置き、情報チラシの配架を行った 3 来庁者向け窓口案内表示の設置 他の階に目的がある来庁者もキッズコーナーを利用しやすいよう、窓口案内表示モニターをキッズコーナーに設置した。
計画目標	来庁者向けの案内表示の見直しの実施
実 績	来庁者向けの案内表示の見直しを実施
総 括	今後も感染対策をした上で、情報提供の場をいかに有効活用できるかを考えていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	26	事業名	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	青少年育成区民大会は、区内の青少年が各校の取り組みについて趣向を凝らして発表し、情報交換することで、青少年の健全育成・非行防止を促進する。青少年音楽のつどいは、区内の青少年が自分たちで協力し合いながら発表会を運営したり、チラシデザインの製作などを行ったりすることで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。				
課 題	青少年育成区民大会は、青少年が活発に情報交換・意見交換できる場とする必要がある。 青少年音楽のつどいは、青少年が新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら自主運営ができる開催方法にするとともに、音楽にこだわらず参加団体が参加したくなるように企画の充実を図る必要がある。				
事業内容	・ 青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和4年1～2月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] ・ フレンドシップ協定締結校を中心とした青少年による問題に対する取り組みの発表を通じた情報交換 ・ フレンドシップ協定締結校生による音楽活動等の発表と運営 ・ 参加者は事前予約制とし、当日記入したチェックシートを会場に持参する等の新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をした上で開催する。				
計画目標	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催 1回				

●令和2年度の事業「青少年育成区民大会の開催」及び「青少年音楽のつどいの開催」を統合。

2. 令和2年度の実施結果（青少年育成区民大会の開催）（進ちょく状況：☆）

課 題	活発な情報交換・意見交換の場とするために、多くの人に参加、発表していただく必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。 代替として中川区ウェブサイトで特設ページを制作し、高校生が作成したポスター画像および当日の発表予定内容等を掲載した。
計画目標	青少年育成区民大会の開催 1回
実 績	青少年育成区民大会の開催 0回（代替あり）
総 括	急激な新型コロナウイルス感染症拡大にも対応可能な開催方法とするため、規模・運営方法・対応策について運営の中心となっているフレンドシップ協定締結校と協議していく必要がある。

2. 令和2年度の実施結果（青少年音楽のつどいの開催）（進ちよく状況：☆）

課 題	自主性を育成するためにも多くの学校に参加してほしいが、参加団体数が減少してきているため、参加団体を増やすために企画の充実を図る必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。 代替として中川区ウェブサイトで特設ページを制作し、参加予定校名を掲載するとともに、一部の学校から演奏映像の提供を受け、まるはっちゅ〜ぶで発表した。
計画目標	青少年音楽のつどいの開催 1回
実 績	青少年音楽のつどいの開催 0回（代替あり）
総 括	急激な新型コロナウイルス感染症拡大にも対応可能な開催方法とするため、規模・運営方法・対応策について運営の中心となっているフレンドシップ協定締結校と協議していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	27	事業名	子ども会活動への支援	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨	子どもたちが異年齢間で交流し、様々な体験を通じて社会生活を身につけられる子ども会活動を促進するために、子ども会活動への支援を行うとともに、区子ども会連合会と連携して子ども会行事の活性化を図る。				
課 題	子どもの減少や余暇の過ごし方の変化、育成者不足による負担増などで、子ども会への加入者の減少や、地域子ども会の解散が進んでいるため、子ども会活動の魅力を地域へ発信し、地域の協力を含めた活動の支援が必要である。				
事業内容	1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営を支援する。 3 区子ども会連合会のホームページを活用し、活動内容などの紹介を行い、広く区民の皆さまに子ども会の活動を周知する。 4 地域役員に向けて、子ども会の魅力や意義などを周知し、新たに子ども会の設立や活動の活性化について情報発信を行う。				
計画目標	地域に向けた新たな子ども会の設立に向けた情報発信の実施				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課 題	子どもの減少や余暇の過ごし方の変化、育成者不足による負担増などで、子ども会への加入者の減少や、地域子ども会の解散が進んでいる。
実施結果	1 運営助成金の交付を行った。 2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区子ども会連合会主催の行事は中止した。 3 区子ども会連合会ホームページを活用し情報発信を行った。 あわせて、令和2年5月1日に中川区ボランティアグループと協力して、自宅で出来る工作「モールアート」の動画を発信した。 4 子ども会を設立していく手法に関係機関と話し合い、中川区子ども会連合会の執行部会において協議を行った。 令和2年9月4日・令和2年10月9日 計2回
計画目標	子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催
実 績	子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催 2回
総 括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議の一部を中止し、子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催について、十分に話し合いを行う事が出来なかった。 また、地域の子ども会では事業の中断により子ども会離れが心配されるため、魅力や意義を情報発信し活動の活性化を促す必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	28	事業名	思春期セミナーの実施	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		講話や体験をとおして、いのちの大切さを学び、性について考え、行動する力を身につけるセミナーを、区内の小学校、中学校と連携して行う。			
課 題		ほとんどの小学校でセミナー（学校独自開催も含む）を実施しているが、中学校は半数程度である。系統立てて学習するために、中学校での実施校を増やしていく必要がある。			
事業内容		1 小学校におけるセミナーの開催 感染対策 主に4年生を対象にいのちの大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、妊婦体験、生まれる体験 2 中学校におけるセミナーの開催 感染対策 性に関する知識を学ぶ講話を中心に実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇、水の交換実験 3 中学校（特別支援級）におけるセミナーの開催 感染対策 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、プライベートゾーン、人との距離感 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験			
計画目標		思春期セミナーの実施 小学校 23 校 中学校（特別支援級含む）8 校			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆ ）

課 題	ほとんどの小学校でセミナー（学校独自開催も含む）を実施しているが、中学校は半数程度である。系統立てて学習するために、中学校での実施校を増やしていく必要がある。
実施結果	1 小学校におけるセミナーの開催 主に4年生を対象に命の大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験 2 中学校におけるセミナーの開催 性に関する知識を講話中心として実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇 3 中学校（特別支援級）におけるセミナーの開催 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化プライベートゾーン、人との距離感 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験
計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23 回 中学校（特別支援級含む）8 回
実 績	思春期セミナーの実施 小学校 18 回 中学校（特別支援級含む）8 回
総 括	新型コロナウイルス感染症の影響による休校で、開催時期の変更や中止があった。令和3年度も感染対策に配慮しつつ、学校ときめ細かな検討の上、実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	29	事業名	高校生向け思春期保健事業	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	中川児童館	
趣 旨		人工妊娠中絶は母体の心身への影響が懸念されている。望まない妊娠や10代の妊娠中絶を防止するために、思春期の時期から「いのちの大切さと正しい性知識」を普及することが必要である。 そのため、区内の高校と連携し若者が望まない妊娠や性感染症を自ら回避する力を身に着けるため、高校生向けの事業を開催する。			
課 題		継続して実施できるように内容等を調整していく必要がある。			
事業内容		いのちの大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験・交流を実施する。 [感染対策] [講話内容] いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [体験・交流] 赤ちゃん人形の抱っこ体験、乳幼児とその親との交流 [そ の 他] リーフレットおよび相談先カードの配布			
計画目標		高校における思春期セミナーの開催 1校			

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課 題	継続して実施できるように内容等を調整していく必要がある。
実施結果	いのちの大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験を実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [体 験]赤ちゃん人形の抱っこ体験 [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布
計画目標	高校における思春期セミナーの開催 1回
実 績	高校における思春期セミナーの開催 1回
総 括	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、一部内容の変更をして実施した。令和3年度も感染対策に配慮し、事業の趣旨を踏まえ、学校のニーズに沿った内容の検討をしつつ継続していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	30	事業名	生活保護世帯等の中学生の学習支援	区分	継続
担当課	民生子ども課		関係部署（所）	支所区民福祉課	
趣 旨	生活保護世帯・ひとり親家庭の中学生に対し、学習会への参加を促し、学力向上、高校進学をめざす。				
課 題	学習支援事業に対する中学生本人の意欲を高めるとともに親の理解を深める必要がある。				
事業内容	5月に生活保護世帯・ひとり親家庭の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業の参加についてのパンフレットを送付して、参加を促すとともに、特に参加が必要と判断される子どもに対しては参加するよう個別に地区担当員から指導する。 学習支援は、子どもの学習指導をするだけではなく、子どもの居場所づくりの役割も果たす。				
計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	学習支援事業に対する中学生本人の意欲を高めるとともに親の理解を深める必要がある。
実施結果	総参加者数は平成31年度の37人から令和2年度は41人とわずかながら増加した。しかし、継続率は平成31年度の91.9%から令和2年度は80.5%と大きく減少した。新型コロナウイルスの感染をおそれ、事業への参加を見合わせる人が多かったのではないかと思料される。
計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）
実 績	学習支援への参加率 27.2%（継続参加率 80.5%）
総 括	参加者数は少ないながらも、参加した児童の中には意欲的に勉学にいそしみ志望校に合格するなどこの事業の意義も如実に表れており、本人・親に対して直接、参加指導する機会の確保の重要性が認識されたため、今後も引き続き直接的な意識啓発を行っていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	31	事業名	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	誰もが自分らしく安心して暮らせるよう区地域包括ケア推進会議を中心として「地域包括ケアシステム※ ¹ 」の深化・推進をめざす。				
課 題	区内でも地域により状況が異なるため、地域包括ケアシステムの深化・推進にあたっては、地域課題を的確に把握し必要な取り組みを進める必要がある。				
事業内容	1 地域包括ケア推進会議等の開催（カッコ内は設置目的） 感染対策 （1）区地域包括ケア推進会議（区の地域包括ケアシステム構築の推進母体） （2）認知症専門部会（認知症の普及啓発、地域ネットワークの構築など） （3）生活支援部会（生活支援ニーズの把握や情報の見える化など） （4）孤立（虐待）防止ネットワーク部会（地域支援ネットワークの推進など） 2 地区診断※²等を受けての取り組み 感染対策 地区診断等により把握した地域課題に基づき、健康寿命を延ばすための地域の取り組みなどを検討する。				
計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回				

※¹ 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み。

※² 地区診断

地域包括ケアに関わる各機関が、把握している学区ごとのニーズ、社会資源等の情報や統計データ等に基づき、地域の課題等を分析し、共有するもの。

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	区内でも地域により状況が異なるため、地域包括ケアシステムの深化・推進にあたっては、地域課題を的確に把握し必要な取り組みを進める必要がある。				
実施結果	1 地域包括ケア推進会議等の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生活支援部会の開催を1回中止し、認知症専門部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会を1回ずつ書面開催とした。その他会議実施についてはオンラインによる開催、対面であれば席の間隔を広げて開催する等、感染対策を講じて開催した。 2 地区診断等を受けての取り組み 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域を訪問しての活動は最小限とし、介護予防の啓発として、自宅等で手軽に取り組める体操を案内したパンフレットを作成した。				
計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 4回 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回				
実 績	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 4回 ・生活支援部会の開催 1回 ・孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 2回				
総 括	資料配布や中止となる会議があり、双方向での意見交換が行えない状況が発生した。今後もオンラインでの開催等、コロナ禍にあっても双方向のやり取りができる方法で柔軟に対応する必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	32	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。				
課 題	区民の方が認知症は身近な病気という認識をもち、認知症の人と家族の立場に立った考え方や行動へつなげられる取り組みを進める必要がある。				
事業内容	1 認知症サポーター養成講座の開催 感染対策 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座を開催する。 2 認知症セミナー・講演会の開催 感染対策 認知症に関する区民向けのセミナー及び講演会を開催する。（認知症セミナーは区医師会等と連携し実施） 3 中川区認知症のしおりの普及啓発 認知症になったときにその進行に合わせて利用できる医療・介護サービス、地域の取り組みを紹介する「中川区認知症のしおり」の普及啓発に努める。				
計画目標	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和3年度末までの累計） 12,900人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆）

課 題	認知症施策については、認知症当事者の立場に立った取り組みになっているかを常に意識して事業内容を検討する必要がある。
実施結果	1 認知症サポーター養成講座の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定例開催については人数を15人に制限して実施し、緊急事態宣言時下及び感染の急拡大が見られる時は開催を中止した。 2 認知症セミナー・講演会の開催 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。 3 中川区認知症のしおりの普及啓発 関係機関職員が中川区版認知症のしおりを使用し、認知症当事者、家族などへの説明を行っている。
計画目標	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和2年度末までの累計） 13,100人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回
実 績	・認知症サポーター養成講座受講者数 10,943人 ・認知症セミナー、講演会 0回
総 括	対面を想定していた事業に中止、人数縮小等の影響が出た。臨時的に可能となっている認知症サポーター養成講座のオンライン実施等、様々な実施方法を検討し、認知症理解の向上を今後も進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	33	事業名	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	高齢者の生活支援ニーズを把握し、気軽に利用できるよう取り組みの充実を図り、高齢者を適切な関係機関につなげる仕組みづくりを進める。				
課 題	専門機関のみでなく地域住民や地域団体と円滑に協働し取り組みを行う必要がある。				
事業内容	- 生活支援ガイドブック（なかがわ人生の達人帖）の更新 区内で提供される多様な生活支援サービス・活動を自助・互助・公助の観点で整理したガイドブックについて、内容を更新し、普及啓発を図る。 - セカンドステージセミナーの開催 感染対策 高齢者が地域活動の担い手としていきいきとしたセカンドステージを送る一助となるよう講演会を開催するとともに区内地域団体を紹介する。 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、事前予約制とした上で参加者を会場収容人数の半以下に制限するなどの対応をとり開催する。 - 高齢者サロン・共生型サロン※の実施を推進 感染対策 高齢者が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる高齢者サロン・共生型サロンを拡大・充実させる取り組みを推進する。 - 覚え書きカードの活用 民生委員、ケアマネジャー、かかりつけ医等の情報を記入することで、民生委員等の訪問時や緊急時に情報確認し、関係機関と連携した支援を図る。 - 数え100歳のお祝い 区内に居住する数え100歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金（市事業）及び保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。				
計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和3年度末） 122箇所				

※高齢者サロン・共生型サロン

高齢者の方が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる場所。高齢者サロンは高齢者同士が、共生型サロンは子どもから高齢者までが一緒に交流でき、地域の「お茶の間」や「たまり場」として、元気な高齢者を始め地域住民等が自主的に運営している。

- 令和2年度の事業「高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援」及び「セカンドステージセミナーの開催」を統合。

2. 令和2年度の実施結果（高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援）
（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	地域に根ざした生活支援・見守り支援の充実のために、専門機関のみでなく地域住民や地域団体との円滑な協働により取り組みを継続する必要がある。
実施結果	- 高齢者サロン・共生型サロンの実施を推進 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、サロン交流会は中止し、各サロンにコロナ禍での運営に関するアンケートを実施して活動の現状について情報共有を行った。 - 生活支援ガイドブック（なかがわ人生の達人帖）の更新 生活支援ガイドブックの時点修正を行うとともに、新型コロナウイルス感染症に対する情報とコロナ禍における生活支援情報を記載したパンフレットを追加作成した。 - 数え100歳のお祝い 数え100歳に達する高齢者へメッセージカードを贈呈した。

計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和２年度末） 120 箇所
実 績	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和２年度末） 121 箇所
総 括	サロンへのアンケートにより、コロナ禍であっても参加者とのつながりを保つために電話や訪問等に対応しているサロンがあることが分かった。また、開催における感染対策を気にする意見も多いことから、コロナ禍でも開催が可能なよう、対策を講じて事業を進める必要がある。

2. 令和２年度の実施結果（セカンドステージセミナーの開催）

（進ちょく状況：— ）

課 題	これまで地域活動への関わりが薄かった方により多く参加していただき、今後の地域活動に繋がるように、企画内容、案内方法等を検討する必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	セカンドステージセミナーの開催 1 回
実 績	セカンドステージセミナーの開催 0 回
総 括	コロナ禍でも開催が可能なよう、対策を講じて事業を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	34	事業名	障害者の地域生活支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	区障害者自立支援連絡協議会※との連携などを通じて、障害者の地域生活支援の充実に努める。				
課 題	ニーズが多様化する中で、障害者の地域生活支援の充実に継続的に努める必要がある。				
事業内容	1 区障害者自立支援連絡協議会との連携 感染対策 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会などを開催し、支援者間の連携・スキルアップをめざす。 2 中川区災害時要配慮者（障害者）支援ガイドブック（私の防災ノート）の普及啓発等 感染対策 障害者やその支援者が災害に対する備えを十分にすることができるよう、「事前に備えておくこと」や「災害発生時の避難行動」、「指定避難所の設備状況や避難所生活の留意点」などをまとめたガイドブックについて、講座の開催などを通じた普及啓発や新型コロナウイルス感染症を踏まえた発災時の対応に係る検討などを行う。				
計画目標	・区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 1回以上 ・私の防災ノートに係る講座などの実施 1回以上				

※障害者自立支援連絡協議会

障害のある方が安心して暮らせる地域をつくるため、障害者団体・障害福祉サービス事業者・行政などが障害福祉に関する地域での連携や支援の体制などを話し合う会議。

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	中川区は障害者手帳の所持者数が市内で最も多く、ニーズも多様化する中で、障害者の地域生活支援の充実に継続的に努める必要がある。
実施結果	1 区障害者自立支援連絡協議会との連携 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などを開催した。 2 中川区災害時要配慮者（障害者）支援ガイドブック（私の防災ノート）の普及啓発 ケアマネサロンで私の防災ノートの普及啓発を行った。
計画目標	・区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの開催 1回以上 ・私の防災ノートに係る講座などの開催 1回以上
実 績	・区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの開催 9回 ・私の防災ノートに係る講座などの開催 1回
総 括	新型コロナウイルス感染症の影響により、私の防災ノートに係る講座は中止としたが、ケアマネサロンで私の防災ノートの普及啓発を行った。また、区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などは、計画目標を上回って開催した。こうしたことを通じて、障害者の地域生活支援の充実に図ることができた。 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況等に応じて、事業実施方法の変更等の対策を検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	35	事業名	障害の理解の促進	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するために、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進に努める。				
課 題	障害者差別の解消に向けて、障害の理解の促進に継続的に努める必要がある。				
事業内容	1 チームメッセンジャー事業の実施 感染対策 障害者やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて、障害に関する出前講座を実施する。 2 障害者スポーツの体験等 感染対策 障害について身近に感じられるよう、区民まつりに障害者スポーツの体験などができるブースを出展する。 3 授産製品販売の促進 感染対策 障害に対する理解を深め、障害者の就労支援にもつながるよう、区役所・支所での授産製品販売を促進する。				
計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 ・授産製品販売の実施 月あたり22回以上				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課 題	中川区は障害者手帳の所持者数が市内で最も多く、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するためには、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進に努める必要がある。
実施結果	1 チームメッセンジャー事業の実施 障害者やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて、障害に関する出前講座を実施した。 2 区民まつりへの出展 コロナ禍で、区民まつりが中止となった。 3 授産製品販売の促進 障害に対する理解を深め、障害者の就労支援にもつながるよう、区役所・支所での授産製品販売を132回実施した。
計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 ・授産製品販売の実施 月あたり23回以上
実 績	・チームメッセンジャー事業の実施 6回 ・授産製品販売の実施 月あたり11回
総 括	新型コロナウイルス感染症の影響により、区民まつりが中止となり、授産製品販売については、4月1日から6月12日まで販売を中止するとともに、販売の回数を減らす事業所や販売を見合わせる事業所があった。一方、チームメッセンジャー事業については計画目標を達成したため、障害の理解の促進を図ることができた。 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況等に応じて、事業実施方法の変更等の対策を検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	36	事業名	区民の健康づくりの推進	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		がんは早期発見により早期治療が可能のため、全年齢に対してがん検診の必要性を普及啓発していく。特に乳がんは自己触診で発見できるため、講座を開催し知識の普及を行う。 あわせて、健康で豊かな生活のため、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し生活習慣病の予防につなげる。			
課 題		区民が生涯にわたって健康を維持できるように、中・高齢層にとどまらず若年層にも早期のがん予防や生活習慣病の予防の必要性を訴える必要がある。			
事業内容		1 がん検診の普及啓発 感染対策 子育て中の母親や高齢者の集まる場所において、がん検診の案内・説明を行う。 2 乳がん講座の実施 感染対策 主に乳幼児を子育て中の母親を対象に、乳がんの基本知識の講話、乳がんモデルを活用した体験による乳がん自己触診法の説明を行う。 3 健康相談の実施 感染対策 区民まつりや地域サロンにおいて、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し、生活習慣病の予防につながるよう支援する。			
計画目標		・乳がん講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談を実施			

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：☆)

課 題	区民が生涯にわたって健康を維持できるように、中・高齢層にとどまらず若年層にも早期のがん予防や生活習慣病の予防の必要性を訴える必要がある。
実施結果	1 がん検診の普及啓発 新型コロナウイルスの影響で、がん検診の実施の可否が不明であったため、チラシの配布ができなかった。 2 乳がん講座の実施 地域の子育てサロンにおいて、乳がん自己触診法普及事業を1回実施した。 3 健康相談の実施 コロナ禍で区民まつりが中止となったが、地域サロンを16回実施した。
計画目標	・乳がん講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談を実施
実 績	・乳がん講座の開催 1回 ・区民まつりで健康相談を実施 0回（代替あり）
総 括	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業は中止となった。今後は感染対策をとりつつ、実施を目指していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	37	事業名	区民まつりの開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	東西に広い中川区において、西・中央・東地区の公園を巡回して開催し、地域の歴史・文化の発信やスポーツの振興など、地域の特色に合わせた企画を充実させることで、区民のふれあいや交流の推進と、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図る。				
課 題	3 会場、それぞれの地域だけの区民まつりとならないよう、3 つの地域をつなげ、区全体で盛り上がる企画をする必要がある。 適切な新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで、事業の趣旨の実現に向けてコロナ禍に対応した形で実施する必要がある。				
事業内容	・区民まつりの開催 感染対策 [実施時期] 令和3年10月24日（日） [場 所] 富田公園 [内 容] ①地域特色事業 富田地区の歴史的な街並みや豊かな自然を生かし、伝統的なまつりや都市農業の魅力を伝える企画を実施する。 ②継続事業 ステージイベントの他、大人から子どもまで楽しめる各種ゲームや体験ブース、模擬店などを実施する。 実施にあたっては、会場内で密にならない配置や、飲食の提供中止も含めた提供方法を講ずる。また、感染拡大の状況によっては ICT の活用も含め、非集合型、非参加型の形態での実施に切り替えることができるよう検討する。				
計画目標	区民まつりの開催 1 回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：— ）

課 題	中川区は東西に広い地形であり、西・中央・東地区の公園を3年周期で巡回し、区民まつりを開催しているが、それぞれの地区の特色に合わせた企画を充実させていく必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	区民まつりの開催 1 回
実 績	区民まつりの開催 0 回
総 括	令和2年7月時点で、開催予定である10月の感染状況や安全対策に見通しが立たないため、7月25日の区民実行委員会総会において中止を決定した。 今後は感染対策の徹底と、感染状況に応じて開催方法の変更も含めて、コロナ禍でも開催できるよう企画する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	38	事業名	スポーツ・生涯学習の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		スポーツ推進委員、体育協会、各種スポーツ関係団体と協力したスポーツ大会や美術展、いけ花展などの文化活動を通じて、心身ともに健康で明るい生活を築き、広く区民に参加していただくことにより、区民のふれあいと交流の推進を図る。			
課 題		参加者の減少と高齢化がすすんできているため、多くの方に安心して参加していただく方策を検討する必要がある。			
事業内容		1 スポーツ大会の開催 感染対策 [実施時期] 令和3年4月～令和4年3月 [場 所] 市内各種スポーツ施設 [内 容] スポーツ大会の開催 参加者は事前予約制とし、当日記入したチェックシートを会場に持参する等の新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をした上で行う。また、式典・来賓・参加者以外の観客は可能な限り縮小し、密をさけ、大会の時間を短縮することにより競技に集中できる体制とする。 2 区民美術展の開催 感染対策 [実施時期] 令和3年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示と入選作の選考 来場者の体温チェックを行い、氏名・連絡先についても確認する。また、来場者が多数の場合は入場制限を行う。なお、感染拡大の状況により、会場での展示が困難な場合は、選考会のみ行い、入選作を広報なごや・中川区ウェブサイトで発表する。			
計画目標		・スポーツ大会の開催 15回 ・区民美術展の開催 1回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆）

課 題	参加者数の減少と高齢化が進んできているため、多くの方に参加していただく方策を検討する必要がある。
実施結果	1 区スポーツ祭の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 （市民スポーツ祭についても中止） 2 区民美術展の開催 区役所講堂での展示については中止した。代替として選考会を行い、入選作について中川区ウェブサイトおよび広報なごやにて掲載した。 （入選作の一部は市民美術展へ出展）
計画目標	・区スポーツ祭の開催 1回 ・区民美術展の開催 1回
実 績	・区スポーツ祭の開催 0回 ・区民美術展の開催 0回（代替あり）
総 括	観戦者の制限、来賓の縮小などにより参加者総数の縮小を図るとともに大会開催時間の短縮を図るなど、今後は、感染対策の徹底と感染状況に応じた開催方法の検討も含めて、コロナ禍でも開催できるよう検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	39	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～	区分	新規
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	土木事務所	
趣 旨		前田利家公ゆかりの地を巡る犬千代ルートにある打出街園の路面整備に合わせ利家公の魅力を発信するとともに、区民の憩いの場、新たなスポットとなるよう整備とイベントを実施することで、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図る。			
課 題		土木事務所と綿密な連携をとり、事業の方向性について共有を図ることで、一体となって事業を進める必要がある。			
事業内容		「前田利家公出世の道（仮称）」の整備 中川土木事務所による、打出街園の舗装整備、新たな植栽設置後、前田利家公の出世を学べる犬千代ルートの新たなスポットとして整備する。 「前田利家公出世の道（仮称）」の愛称公募 区民が愛着を持てる場所づくりとするため、整備されたプロムナードの愛称の区民公募を実施。 「前田利家オリジナル商品取扱店」の拡充 一柳通商店街の加盟店舗をはじめ、打出街園周辺の店舗への「前田利家オリジナル商品取扱店等登録制度」の周知と参加の促進を図る。 「前田利家公出世の道（仮称）」の開通式 感染対策 一柳通商店街との協働による開通イベントを実施。 〔実施時期〕 令和4年2月下旬（仮） 〔場 所〕 打出街園 〔内 容〕 おもてなし武将隊等によるセレモニー 前田利家オリジナル商品のPR など			
計画目標		- 前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 5店舗 - 開通イベントの実施 1回			

2. 令和2年度の実施結果（利家お宝ミステリーツアー）（進ちょく状況：—）

課 題	前田利家生誕の地としての魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。
実施結果	- スタンプラリーキャンペーンの実施 「前田利家オリジナル商品登録店」を巡るスタンプラリーキャンペーンを、令和2年12月14日（月）から令和3年2月7日（日）まで実施、市内外から382名が参加した。 - 利家お宝ミステリーツアーの実施 スタンプラリーキャンペーンの参加者のうち、抽選で10組程度、21名までを招待し、利家公ゆかりの地を巡る企画を予定していたが、緊急事態宣言の発出に伴い中止した。
計画目標	利家お宝ミステリーツアーの実施 1回
実 績	利家お宝ミステリーツアーの実施 0回
総 括	コロナ禍でのマイクロツーリズムとして、身近な場所を巡るスタンプラリーは参加しやすく好評を得たが、バスを使用し長時間同じ空間を共有することとなるミステリーツアーは、感染状況に大きく左右される結果となった。 今後は、感染対策の徹底と感染状況に応じて開催方法の変更も含めて、コロナ禍でも実施できるよう検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	40	事業名	川を生かしたまちづくり	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	土木事務所、環境事業所	
趣 旨		区名の由来となった中川運河をはじめ、7つの河川が流れる豊かな水辺環境に親しみを持ち、興味や関心を深めるきっかけを提供し、魅力を発見・発信するとともに、区民のふれあいや交流の機会とする。			
課 題		それぞれの河川の魅力や特色を効果的に演出し、区民が興味や関心を深めることができる企画とする必要がある。			
事業内容		1 中川運河の魅力発見 感染対策 船上と地上の双方の視点から運河に親しむクルーズとまち歩きを実施する。 [実施時期] 令和3年11月（仮） 2 庄内川多世代ふれあい事業 感染対策 大学や企業のボート部からなる協議会と協力し、親子を対象としたボート教室を実施する。 [実施時期] 令和3年4～6月頃 3 戸田川地域ふれあい事業 感染対策 戸田川上流域にて地域住民や企業などとともに大清掃を実施する。 [実施時期] 令和3年11月3日（水・祝） 4 荒子川の魅力発見【新規事業】 感染対策 桜咲く荒子川沿いを散策するとともに荒子川の歴史を学び、魅力を発見するまち歩きを実施する。 [実施時期] 令和3年4月3日（土）（仮）			
計画目標		中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆）

課 題	中川区の特色である豊かな水辺環境の魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。
実施結果	1 中川運河の魅力発見 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、まち歩きイベントを中止し、代替事業として「中川運河魅力発見マップ」を作成した。 2 庄内川の魅力発見 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。 3 戸田川の魅力発見 令和3年11月3日（水・祝）に地域住民や企業など112名の参加により、密集・密接を避けるなどの感染対策をとり大清掃を実施した。
計画目標	中川運河、庄内川及び戸田川の魅力発見事業の実施 各1回
実 績	中川運河の魅力発見 0回（代替あり）、庄内川の魅力発見 0回 戸田川の魅力発見 1回
総 括	コロナ禍において事業を延期し実施方法を模索しながら、感染対策を行い実施できたものや代替事業として行うことができた。 今後も感染状況に応じて代替事業への変更も含めた検討を行っていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	41	事業名	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		これからを担う子どもたちに、中川区の特色であるものづくりの魅力を伝えていくことで、中川区に対する誇りを醸成し、愛着を深める機会とする。			
課 題		協力企業と綿密にコミュニケーションをとりながら、事業の趣旨を共有し、ともに実施方法などを検討していく必要がある。			
事業内容		・未来へつなげよう、ものづくりのまち中川の実施 感染対策 〔実施時期〕 令和3年12月下旬（仮） 〔場 所〕 区内のものづくり企業（3社程度） 〔内 容〕 区内のものづくり企業などの協力を得て、親子を対象とした工場見学やものづくり体験を実施する。 実施にあたっては、飲食を伴わない企画内容とするなど十分留意する。			
計画目標		未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆ ）

課 題	中川区の特色であるものづくりの魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。
実施結果	当初、小中学校の冬休み期間中となる12月実施を予定していたが、冬休み期間の変更に伴い、春休み期間中となる3月実施に変更した。 しかし、年末年始からの新型コロナウイルス感染症の拡大、さらには緊急事態宣言発出を受け、現地での見学と体験を中止とした。 代替事業として、過去2年間3回の工場見学やものづくり体験の記録を基に、区内のものづくりについて紹介する小冊子「中川区ものづくり大百科」を作成、区内小学校の次年度新4年生に向けて配布した。
計画目標	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回
実 績	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 0回（代替あり）
総 括	コロナ禍において、実施の可否、実施方法等について、区内企業の意見も聴取しながら検討してきたが、代替事業で実施することとなった。 今後は、実際に見学、体験ができる企画を目指しつつも、感染状況に応じた実施方法の変更を、協力企業とともに検討していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	42	事業名	まちの歴史文化を伝える・広める	区分	継続
担当課		地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区内の歴史・文化財・街道などの幅広い魅力を積極的に発信し、ふれあいや交流を図るイベントを実施することで、訪れたいまちをめざすとともに、地域で活動する団体と協働することで、区民とともに郷土愛の醸成を図る。			
課 題		地域活動団体が区内の歴史的魅力を継続的に発信していけるために、効果的な支援を行っていく必要がある。			
事業内容		1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 感染対策 （１）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 （２）区内見どころマップ類の刷新等検討 （３）区民まつりにおける区内の魅力発信 （４）区内まち歩きイベントの実施 [実施時期]令和4年2月～3月（仮） 2 富田地区のふれあいあるまちづくり 感染対策 富田地区ウォーキング大会 [実施時期]令和4年3月（仮）			
計画目標		区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：—）

課 題	地域活動団体が、ある一定以上のレベルで区内見どころのガイドを行えるなど区内の歴史的魅力を継続的に発信していけるための適切な支援を行っていく必要がある。
実施結果	1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 （１）地域活動団体のガイドボランティア活動に対し、毎月（4月～6月及び2月を除く）ワークショップを開催し、意見交換を行うなどの支援を行った。 （２）「中川区見どころマップ」の内容確認と修正案の作成を地域活動団体のワークショップにおいて実施した。 （３）区民まつりの中止に伴い、区民まつりにおける区内の魅力発信は実施できなかった。 （４）区内まち歩きイベントは緊急事態宣言の発出に伴い中止した。 2 富田地区のふれあいあるまちづくり 新設される名二環を取り入れたコースを設定し、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、準備を進めてきたが、緊急事態宣言の発出に伴い中止した。
計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回
実 績	区民まつりにおける区内の魅力発信 0回、区内まち歩きイベント 0回 富田地区ウォーキング大会の実施 0回
総 括	コロナ禍においてイベントの中止もあったが、地域活動団体のワークショップも開催できない期間があり、活動が停滞してしまった。 今後はイベントのみならず、ワークショップについてもコロナ禍で開催できるような形態を講じて、活動が停滞しないよう支援する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	43	事業名	ナッピーによるふれあい・啓発活動	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	中川区マスコットキャラクター「ナッピー」と「ハボン」を活用し、区の取り組みや魅力を効果的にPRしていくとともに、「ナッピー」と「ハボン」の認知度の向上を目指す。				
課 題	「ナッピー」、「ハボン」が区の魅力のひとつとなり得るような効果的な演出などの工夫が必要である。				
事業内容	ナッピーを通じた広報を実施することで、区政への関心や親しみを高める。 1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動【新規事業】 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動【新規事業】				
計画目標	ナッピーを活用した啓発活動（広報媒体への掲載を含む） 30回				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆ ）

課 題	「ナッピー」、「ハボン」ともに、その認知度の向上に努めていく必要がある。				
実施結果	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 コロナ禍での各種イベント中止に伴い、活動の機会が減少し、活用回数は12回にとどまったが、啓発動画作成等への参加など、コロナ禍に対応した活用を行った。 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製 交通安全をはじめとした各種啓発品として使えるようデザインしたエコバッグや、コロナ禍を意識しマスクケースを作成し、啓発活動はじめ各事業で使える啓発品を作成した。 また、ナッピーLINE スタンプの販売開始に合わせ、スタンプについてもPRできるような啓発品としてシールも作成した。				
計画目標	着ぐるみの活用 30回				
実 績	着ぐるみの活用 12回				
総 括	交通安全教室等の着ぐるみの活用機会が減った中で、積極的に活用を探り、認知度向上に努めた。 今後も、着ぐるみの活用に加え、ぬいぐるみやLINEスタンプによる啓発や、広報なごや紙面での「ナッピー」、「ハボン」の活用を進める必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	44	事業名	ベジファーマーの育成	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署（所）	—		
趣 旨	農家の高齢化や後継者不足により、耕作ができなくなった農地が区内で増えている。今後も高齢化や後継者不足が進み、耕作困難となる農地がより増加していくことが見込まれるため、新たな農業の担い手「ベジファーマー※ ¹ 」を育成するとともに、農地バンク制度※ ² を活用した農地の保全を図る。				
課 題	農地の保全を図るため、より多くの新たな農業の担い手を育てる必要がある。				
事業内容	1 ベジファーマーの育成 感染対策 年間を通して、講師の指導のもと座学と実習を行い、野菜の栽培技術やノウハウを身に付けた「ベジファーマー」を育成する。講師の指導のもと実践的な農業知識の習得を目指す。 受講生や修了生、農家が意見交流をする機会を設けて、農業を通じた区民の交流を促進する。 2 農地のあっせん 農地バンク制度について講座内で説明をし、制度を周知する。 農地バンクを活用している講座修了生に実体験を話してもらう時間をつくり新規就農を身近に感じてもらう機会を提供する。 農地バンクへ登録を希望した受講生には、登録農地のあっせんをする。				
計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 9名 ・講座修了者の農地バンク情報登録者 3名				

※1 ベジファーマー

野菜づくりを通して地産地消と緑豊かなまちづくりに取り組む新たな農業の担い手。

※2 農地バンク制度

農家が管理できなくなった農地を市に登録し、一定の条件を満たす希望者に紹介して貸借を支援する制度。

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：—)

課 題	農地の保全を図るため、より多くの新たな農業の担い手を育てる必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 10名 ・講座修了者の農地バンク情報登録者 5名
実 績	・ベジファーマー育成講座の受講生 0名 ・講座修了者の農地バンク情報登録者 0名
総 括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。今後はコロナ禍でも開催できるよう感染対策を徹底して講座を運営する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	45	事業名	地域の特産農産物のPR	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣 旨	トマトや水耕ねぎ・みつば・レタスなど地域で盛んに生産されている農産物や、中川区発祥の伝統的な農産物(名古屋ちりめんハボタン・野崎白菜)について、区内の学校や農業者、企業等と連携し、広報を行う。				
課 題	区内の学校や農業者、企業等と連携し地域の特産農産物のPRを充実させる必要がある。				
事業内容	1 農産物の広報 区内の学校、農業者、企業等と協働して地域の特産農産物のPRを実施する。 2 地産地消フェアの開催 感染対策 [実施時期] 令和3年11月6日(土) [場 所] 区役所駐車場(状況によっては変更することがある。) [内 容] 中川区発祥のあいち伝統野菜「野崎白菜」をはじめ、地元の新鮮な農産物の販売を通し都市農業の魅力を伝える企画を実施する。実施にあたっては、広い会場を確保し、来場者の動線を一方向にするなど感染予防を徹底する。 3 名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の周知 感染対策 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で種から苗を育ててもらうための資材を提供する。 育てたハボタンの苗を学校花壇へ植栽するほか、地産地消フェア等のイベントで区民に配布する。				
計画目標	・地産地消フェアの開催 年1回 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校 ・野崎白菜栽培校 3校				

●令和2年度の事業「地域の特産農産物のPR」及び「地産地消フェアの開催」を統合。

2. 令和2年度の実施結果(地域の特産農産物のPR) (進ちよく状況:☆☆)

課 題	中川区発祥の伝統的な農産物や地域で盛んに生産されている農産物の魅力を区民に効果的に発信する必要がある。
実施結果	1 農産物の広報 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地産地消フェアが中止となったが、戸田川緑地管理センターや港農政課と連携して12月5日の「野菜トラック市」(戸田川緑地管理センター主催)において地元の特産農産物のPRを行った。 2 名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の周知 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で種から苗を育ててもらうための資材を提供した。 育てたハボタンの苗を学校花壇へ植栽するほか、「野菜トラック市」で来場者に配布した。
計画目標	・名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校 ・野崎白菜栽培校 3校
実 績	・名古屋ちりめんハボタン栽培校 1校 ・野崎白菜栽培校 2校

総 括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中・特別支援学校が休校になったこともあり、名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の栽培校は目標数に届かなかったが、生徒の栽培したハボタンの苗を「野菜トラック市」に訪れた来場者に配布することができた。また、栽培に参加した生徒のアンケートで8割以上の生徒が「栽培が楽しかった」、「また栽培したい」と回答しているため、今後も学校と連携した地域の特産農産物のPRに力を入れていく必要がある。
-----	--

2. 令和2年度の実施結果（地産地消フェアの開催）（進ちよく状況：☆）

課 題	より多くの区民に名古屋市の農業の魅力を伝え、地産地消を身近に感じていただく必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地産地消フェアを中止としたが、戸田川緑地管理センターや港農政課と連携し12月5日の「野菜トラック市」（戸田川緑地管理センター主催）を実施した。中川区・港区の農家が野崎白菜など地元の新鮮な農産物の販売を通して、来場者に都市農業に親しむ機会の提供ができた。
計画目標	地産地消フェアの開催 年1回
実 績	地産地消フェアの開催 年0回（代替あり）
総 括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地産地消フェアを中止とした。今後、コロナ禍でも地産地消フェアの開催が可能となるよう、感染対策を徹底した会場の設営や当日の運営について準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	46	事業名	さまざまなメディアを活用した情報発信	区分	拡充
担当課	地域力推進室ほか		関係部署（所）	—	
趣 旨	広報なごや区版をはじめ中川区ウェブサイト、SNS及び地域コミュニティ誌などさまざまなメディアを活用し、より多くの方に中川区の魅力を伝えていく。				
課 題	紙面やサイト等の構成を、誰もが見やすくわかりやすい構成にすることに努めるなど、魅力の発信力を高めていく必要がある。 また、コロナ禍を意識した情報発信に努める必要がある。				
事業内容	1 広報なごや区版、中川区公式ウェブサイト、SNSによる情報発信 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 3 名古屋市観光コンベンションビューローなどを通じた情報提供【新規事業】 （名古屋コンシェルジュをはじめとした観光情報ツールの活用） 4 なごや歴史探検アプリなどを活用した情報発信【新規事業】				
計画目標	広報なごや区版の閲覧率 65% SNSによる発信件数 70 件、各メディアへの情報提供 12 件（毎月 1 件以上）				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆）

課 題	紙面やサイト等の構成を、誰もが見やすくわかりやすい構成にすることに努めるなど、魅力の発信力を高めていく必要がある。
実施結果	1 広報なごや区版、中川区公式ウェブサイト、SNSによる情報発信 広報なごや区版「ナッピーかわらばん」に関しては、デザイン、配置や文字数を減らすなど見やすくわかりやすい紙面構成に取り組んだ。 中川区公式ウェブサイトやSNSの活用について、イベントなどの中止が相次いだため減少したが、感染対策などの注意喚起を積極的に行いSNSの活用は52件となった。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 区の事業について、中日ホームニュースをはじめ地域コミュニティ誌への情報提供に加え、各新聞社へも積極的に情報提供を行うことができた。
計画目標	SNSによる発信件数 70件
実 績	SNSによる発信件数 52件
総 括	広報なごや区版において時期を捉えた記事の作成や、積極的に各メディアへの情報提供を行い、区の魅力発信に努めた。 これまで活用していない情報発信ツールについても活用を検討し、さらに広く発信していけるよう努める必要がある。

その他の取り組み つながりづくりに向けた取り組み

1. 令和3年度事業内容等

No.	47	事業名	町内会・自治会の加入促進	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨	町内会・自治会に関心を持っていただくとともに、加入するメリット等を周知することで町内会・自治会への加入を促進し、地域コミュニティの活性化につなげる。				
課 題	町内会・自治会に加入するメリット等を分かりやすく周知したり、関係団体と連携して加入を促したりするなどして、町内会・自治会への加入につなげる必要がある。				
事業内容	1 町内会・自治会加入促進チラシの配布 町内会・自治会加入促進チラシを作成し、中川区への転入者等への配布や、区政協力委員等による町内会・自治会への加入案内の支援を実施する。また、不動産関係団体と連携し、加盟事業者に町内会・自治会加入促進チラシの配布協力を依頼する。 2 加入促進ポスターの設置等による町内会・自治会への取り次ぎ 区役所情報コーナーに町内会・自治会加入促進ポスターを設置し、ポスター等を通じて問い合わせのあった町内会・自治会への取り次ぎを実施する。 3 共同住宅の建築確認情報の提供 新築予定の共同住宅について、建設段階から町内会・自治会の加入案内を進めることができるよう、建築確認情報を該当学区に提供する。				
計画目標	町内会・自治会加入促進チラシの配布枚数 10,500 枚				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	町内会・自治会に加入するメリット等を分かりやすく周知するなどして、町内会・自治会への加入につなげる必要がある。
実施結果	1 町内会・自治会加入促進チラシの配布 中川区への転入者等に配布し、区政協力委員等が町内会・自治会への加入案内をする際に使用して加入するメリット等を周知した。その結果、取り次ぎ依頼が4件あった。 2 加入促進ポスターの設置等による町内会・自治会への取り次ぎ 町内会・自治会加入促進ポスターを活用した取り次ぎ依頼は0件であった。 3 共同住宅の建築確認情報の提供 年4回、該当学区に建築確認情報を提供し、町内会長等による町内会・自治会加入案内の支援を行った。
計画目標	町内会・自治会加入促進チラシの配布枚数 10,000 枚
実 績	町内会・自治会加入促進チラシの配布枚数 10,000 枚
総 括	町内会・自治会加入促進チラシの作成により、中川区への転入者等に直接、加入するメリットを分かりやすく伝えることができた。また、区政協力委員協議会において意見交換を行い、課題を共有した。 さらに加入数を増加させるため、他の関係団体等と連携した取り組みを進める必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和3年度事業内容等

No.	48	事業名	区民の声を区政に反映	区分	継続
担当課		企画経理室、総務課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区民会議や区民アンケート等を通じて、区の将来の方向性に関することや区政運営の取り組みなどについて幅広い意見をお聞きし、区民の皆さまの区政への参画をすすめる。			
課 題		話し合いの場において、より区政に反映できるようなご意見を参加者からいただくことができる仕組みを作る。また区民アンケートの回答率を前年度より増加させる（令和2年度の区民アンケート回答率：39.15%）。			
事業内容		1 区民会議の開催 感染対策 区民意見を聴取するため、区民会議を年2回開催する。また、様々な年代、立場の人々が集まり、中川区の将来について話し合っていただくために意見収集の場「なかが話」を開催する。 2 区民アンケートの実施 区民2,000人を対象とした区民アンケートを実施し、中川区将来ビジョンにおける成果指標の評価及び区政に関する意見について聴取する。 3 提案箱の設置 区役所・支所に提案箱を設置し、区民の皆さまから提案・意見をいただき、事務改善等を行って、区民サービスの向上につなげる。			
計画目標		・区民会議の開催 2回 ・意見収集の場「なかが話」の開催 1回 ・区民アンケートの実施 1回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆）

課 題	話し合いの場において、より区政に反映できるようなご意見を参加者からいただくことができる仕組みを作る。また区民アンケートの回答率を前年度より増加させる（令和元年度の区民アンケート回答率：33.15%）。
実施結果	1 区民会議の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回会議のみ書面開催で実施し、第2回は中止した。また、意見収集の場「なかが話」も中止し、区民会議構成員が参加する各種会議に出席し、令和2年度区政運営方針の説明をしたうえで意見を募った。 2 区民アンケートの実施 11月24日～12月11日に実施し、回収率は39.15%であった。 3 提案箱の設置 22件のご提案・ご意見をいただき、事務改善につなげた。
計画目標	・区民会議の開催 2回 ・意見収集の場「なかが話」の開催 1回 ・区民アンケートの実施 1回
実 績	・区民会議の開催 1回（書面開催） ・意見収集の場「なかが話」の開催 0回（代替あり） ・区民アンケートの実施 1回
総 括	「なかが話」を中止したことの代替として各種会議に出席し意見を募ったが、意見は少なかった。 アンケート回収率は令和元年度より上昇したが、幅広い世代の方からさらに回収ができるようにする必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和3年度事業内容等

No.	49	事業名	利用しやすい区役所づくりの推進	区分	継続
担当課		総務課ほか	関係部署（所）	—	
趣 旨		接遇・窓口対応能力の向上や庁舎環境の改善を図るなど、利用しやすく親しまれる区役所をめざす。			
課 題		毎年人事異動により職員が入れ替わっていく中、職員の接遇・窓口対応力の継続的な向上を図っていくことが必要である。			
事業内容		1 外部講師を活用した窓口サービスの向上 各課窓口におけるサービス向上のため、接遇・窓口対応力向上を図る研修を実施し、窓口サービスの向上に役立てる。 また、認知症サポーター養成講座の全職員受講を引き続き推進するとともにサービス介助士資格取得など専門的な対応ができる職員を養成する。 2 外国語の庁内案内文を作成するなど、外国人の方が利用しやすい区役所づくりを進める。 3 来庁した区民の方が快適に庁舎を利用できるよう区民目線に立った庁舎環境の改善を進める。			
計画目標		接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回			

2. 令和2年度の実施結果

（進ちよく状況：☆☆☆）

課 題	毎年人事異動により職員が入れ替わっていく中、継続的に接遇・窓口対応能力の向上を図っていく必要がある。また、外国人住民の視点にも立った分かりやすく丁寧な説明能力の向上が求められる。
実施結果	1 外部講師を活用した窓口サービスの向上 外部講師による接遇・CS向上セミナーを1回開催し接遇・窓口対応能力の向上を図った。 サービス介助士について、窓口対応の多い課が受講した。 認知症サポーター養成講座について全職員が受講した。 2 接遇推進委員会で各課の意見を確認しながら外国人の方が利用しやすい区役所づくりを進めた。 3 各種案内パネルを設置したほか、トイレの改修、網戸の設置など庁舎環境の改善を進めた。
計画目標	・接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回 ・接遇推進委員会の開催 4回
実 績	・接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 1回 ・接遇推進委員会の開催 4回
総 括	計画目標を概ね達成したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外部講師による研修を1回中止したため、講演会型の研修にこだわらない開催方法を検討する必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和3年度事業内容等

No.	50	事業名	地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	区分	継続
担当課	支所区民生活課	関係部署（所）	—		
趣 旨	富田地区の魅力や地域活動の情報を発信することで、住民が地域活動に積極的に参加する契機とし、住民相互の交流を図り、連帯を深めることを目的とする。				
課 題	地域行事やイベントの開催時期には偏りがあるため、地域情報の掘り起こしや掲示物が少ないときの情報発信方法を考える必要がある。				
事業内容	富田支所の玄関に「とみだふれあい掲示板」を設置することで、地域の団体等から申請があった富田地区の歴史・文化等の魅力や各学区で開催する地域活動やイベントなどの情報等を広く発信する。 掲示内容は、写真を多く掲示したり、提供される掲示物が目立つように工夫することで、活動内容が地域住民にとってより身近なものにする。				
計画目標	年間申請数 36 件以上				

2. 令和2年度の実施結果

（進ちょく状況：☆☆☆）

課 題	地域行事やイベントの開催時期には偏りがあるため、地域情報の掘り起こしや掲示物が少ないときの情報発信方法を考える必要がある。
実施結果	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で地域行事の開催中止が相次ぎ、「とみだふれあい掲示板」利用申請の減少が危惧されたが、積極的に地域情報の掘り起こしと地域や関係機関に対する情報発信依頼を行った結果、計画目標を上回り、富田地区の魅力と情報の発信をすることができた。 また、コロナ禍で地域が感染対策を講じながら創意工夫を凝らして開催したイベントの発信を行うことで、富田地区の住民にコロナ禍における富田地区の地域活動を伝える貴重な場となった。
計画目標	年間申請数 36 件以上
実 績	年間申請数 55 件
総 括	今後も積極的に地域情報の掘り起こしを行い、地域活動の情報の発信をしていく必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和3年度事業内容等

No.	51	事業名	季節の花でおもてなし	区分	継続
担当課		中川農政課、地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		来庁される皆さまに、癒しとやすらぎを感じてもらうため、区役所、支所の花壇を季節の花で彩る。			
課 題		住民に身近で親しまれる庁舎環境を整備する必要がある。			
事業内容		1 年間を通じた季節の花の植栽 (1) 区役所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備を行う。 ・区役所1階にボランティアによる玄関花を設置する。 (2) 支所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備をボランティアと協働で行う。 2 情報発信 植え付けにあわせて区公式ウェブサイトやSNS等による発信を行う。			
計画目標		区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所3～5回 区役所の玄関花の継続的な設置			

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：☆☆☆)

課 題	住民に身近で親しまれる庁舎環境を整備する必要がある。				
実施結果	1 年間を通じた季節の花の植栽 (1) 区役所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備を行った。 6月ブルーサルビア、7月スイレン、9月サルビア、 12月名古屋ちりめんハボタン、2月パンジー ・区役所1階にボランティアによる玄関花を設置した。 4月～11月 週1、2回設置 (新型コロナウイルス感染症により一時中止) 11月～3月 週1回程度設置 (2) 支所 ・年4回(5月・7月・11月・3月)支所花壇に植栽を行った他、ボランティア団体の育てた苗をいただき、随時植栽を実施した。 2 情報発信 植え付けにあわせて区公式ウェブサイトやSNS等による発信を行った。				
計画目標	区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所3～5回				
実 績	区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所3～5回				
総 括	区役所及び支所の花壇の植え付けや区役所玄関花の設置を継続して今後も住民に身近で親しまれる庁舎環境を整備する必要がある。				

3 令和2年度の取り組み結果について

(1) 将来ビジョンに掲げる成果目標の進ちょく状況

中川区では、令和2年5月に策定した「中川区将来ビジョン」において、施策の進ちょく状況を示す「ものさし」として18の指標を定め、将来ビジョンの計画期間の最終年度となる令和5年度までの達成を目指す成果目標を設定しました。

令和2年度の結果は以下の通りです。

めざすまちの姿	進ちょく状況別指標数					
	A	B	C	D	—	合計
安心・安全きれいなまち	3	1	—	2	1	7
みんなにやさしいまち	4	—	1	2	—	7
魅力あふれるまち	1	—	—	2	1	4
合計	8	1	1	6	2	18

(注) 令和2年度の基準値に対する進ちょく状況を以下のように評価しています。

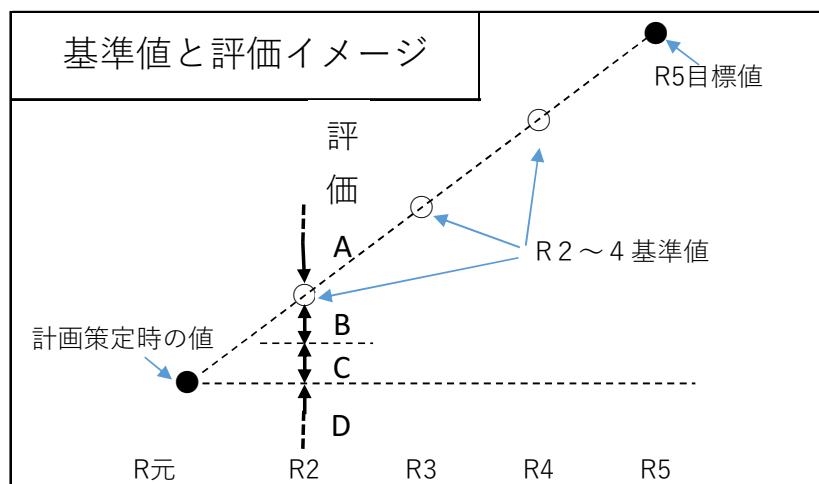
記号	基準
A	令和2年度の基準値を達成した (基準値に対する実績値の割合が100%以上)
B	計画策定時の値に対して向上した (基準値に対する実績値の割合が50%以上100%未満)
C	計画策定時の値に対してやや向上または維持した (基準値に対する実績値の割合が0%以上50%未満)
D	計画策定時の値を下回った (基準値に対する実績値の割合が0%未満)
—	計画していた事業の中止により実績値がとれなかった

令和2年度の基準値の算定方法は次の通り

計画策定時の値 + (令和5年度の目標値 - 計画策定時の値) × 1/4

基準値に対する実績値の割合の算定方法は次の通り

(2年度の実績値 - 計画策定時の値) ÷ (2年度の基準値 - 計画策定時の値)



安心・安全きれいなまち 施策１－１ 地域防災力の向上

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
防災対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	47.7%	55%	49.6%	57.4%	A
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	41.7%	100%	56.3%	100%	A

安心・安全きれいなまち 施策１－２ 防犯対策・個通安全対策の推進

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
防犯対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	55.8%	60%	56.9%	54.5%	D
交通安全対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	57.6%	65%	59.5%	59.4%	B
交通安全教室の開催回数	79 回	90 回	82 回	23 回	D

安心・安全きれいなまち 施策１－３ 快適に暮らせる環境づくり

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
快適な環境づくりへの取り組みが進んでいると思う区民の割合	46.7%	55%	48.8%	50.0%	A
クリーンキャンペーンの参加人数	9,727 人	10,000 人	9,795 人	—	—

みんなにやさしいまち 施策２－１ 子育て環境の充実

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
子育て支援の取り組みが進んでいると思う区民の割合	53.8%	60%	55.4%	63.3%	A
なかがわっ子サポーター活動件数	255 件	300 件	266 件	16 件	D

みんなにやさしいまち 施策２－２ 子ども・青少年の健全育成

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
青少年育成への取り組みが進んでいると思う区民の割合	34.4%	40%	35.8%	46.0%	A
子ども会への加入率	24.6	25%	24.7%	22.9%	D

みんなにやさしいまち 施策２－３ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
高齢者・障害者支援への取り組みが進んでいると思う区民の割合	50.3%	55%	51.5%	57.6%	A
高齢者サロン・共生型サロンの実施数	120 箇所	122 箇所	121 箇所	121 箇所	A
認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	10,540 人	16,200 人	11,955 人	10,943 人	C

魅力あふれるまち 施策３－１ 区民のふれあいと交流の推進

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
区民のふれあいや交流を推進する取り組みが進んでいると思う区民の割合	62.7%	70%	64.6%	53.4%	D
区民まつり来場者アンケートにおける満足度	95.7%	95%以上	95%以上	—	—

魅力あふれるまち 施策３－２ まちの魅力の発掘・発信

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和２年度基準値	令和２年度実績値	評価
まちの魅力を発掘・発信する取り組みが進んでいると思う区民の割合	42.8%	50%	44.6%	49.9%	A
SNSによる発信件数	65 件	80 件	69 件	52 件	D

(2) 事業ごとの進ちょく状況

令和2年度の区政運営方針において、事業シートに掲載したすべての事業について計画目標を定め、その進ちょく状況の評価を行いました。(詳細は各事業シートをご覧ください。)

めざすまちの姿	進ちょく状況別事業数				
	☆☆☆	☆☆	☆	—	合計
安心・安全きれいなまち	8	2	2	2	14
みんなにやさしいまち	7	7	7	3	24
魅力あふれるまち	0	2	5	4	11
その他の取り組み	4	1	0	0	5
合計	19	12	14	9	54

(注) 計画目標に対して実際にどの程度実施したかを以下の記号で示しています。

記号	基準
☆☆☆	当初計画に対し、おおむね順調に進ちょくしたもの [当初計画の事業量に対して概ね8割以上]
☆☆	当初計画に対し、やや遅れが見受けられたもの [当初計画の事業量に対して概ね5割以上8割未満]
☆	当初計画に対し、遅れが見受けられたもの [当初計画の事業量に対して5割に満たない] または、新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画の事業は実施できなかったが、代替事業を行ったもの
—	当初計画を全く実施できなかったもの(新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたもの)

事業名		進ちよく
1 安心・安全きれいなまち		
新	施策1-1 地域防災力の向上	
	1 「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ①地域特性に応じた適切な避難行動に係る計画策定の支援	☆☆☆
	2 「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ②地域特性に応じた各種訓練の支援	☆☆☆
	3 「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ③各種講習の実施を通じた地域防災活動の支援	☆☆☆
	4 「地域防災マネジメント事業」の推進に係る消防署との連携	-
	5 災害対応体制の強化	☆
	6 防災協力農地の登録・周知の推進	☆☆☆
	施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進	
	7 防犯対策の推進	☆☆
	8 地域における自転車パトロールの推進	☆☆☆
	9 交通安全対策の推進	☆
	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト～子供を守るつながりづくり～ ①地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業	☆☆
	11 自転車乗車時のヘルメット着用推進	☆☆☆
	施策1-3 快適に暮らせる環境づくり	
	12 クリーンキャンペーンの実施	-
	13 空地・空家等の適切な管理の推進	☆☆☆
	14 ペットと暮らす快適なまちづくり運動の推進	☆☆☆

事業名		進ちよく
2 みんなにやさしいまち		
新	施策2-1 子育て環境の充実	
	15 子育て支援に関する情報発信	☆☆
	16 妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	☆☆☆
	17 乳幼児健診時に本に親しむ機会の提供	☆☆
	18 子育て支援講座の開催	☆
	19 若年の親や発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	☆
	20 子育て家庭向け交流イベントの開催	-
	21 地域における子育て支援の人材育成と活動促進	☆
	22 地域の子育てサロンの運営支援	☆☆
	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト～子供を守るつながりづくり～ ②子どものいのちを守る子育て防災対策事業	-
	24 児童虐待防止の推進・啓発	☆☆☆
	25 キッズコーナー「すまいる」	☆☆
	施策2-2 子ども・青少年の健全育成	
	26 青少年育成区民大会の開催	☆
	27 青少年音楽のつどいの開催	☆

新	28	子ども会活動への支援	☆☆
	29	思春期セミナーの実施	☆☆
	30	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト～子供を守るつながりづくり～ ③若者と未来の子どもを守る高校生向け思春期保健事業	☆☆☆
	31	生活保護世帯等の中学生の学習支援	☆☆☆
	施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり		
新	32	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	☆☆☆
	33	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	☆
	34	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	☆☆☆
	35	セカンドステージセミナーの開催	-
	36	障害者の地域生活支援	☆☆☆
	37	障害の理解の促進	☆☆
	38	区民の健康づくりの推進	☆

事業名			進ちよく
3 魅力あふれるまち			
新	施策3-1 区民のふれあいと交流の推進		
	39	区民まつりの開催	-
	40	スポーツ・生涯学習の推進	☆
	施策3-2 まちの魅力の発掘・発信		
	41	利家お宝ミステリーツアー	-
	42	川を生かしたまちづくり	☆
	43	未来のものづくりびと育成プロジェクト	☆
	44	まちの歴史文化を伝える・広める	-
	45	ナッピーによるふれあい・啓発活動	☆
	46	地産地消フェアの開催	☆
	47	ベジファーマーの育成	-
	48	地域の特産農産物のPR	☆☆
	49	さまざまなメディアを活用した情報発信	☆☆

事業名			進ちよく
その他(めざすまちの姿の実現に向けての取り組み)			
	1 つながりづくり♡まちづくり		
	50	町内会・自治会の加入促進	☆☆☆
	2 住民に身近な総合行政機関		
	51	区民の声を区政に反映	☆☆
	52	利用しやすい区役所づくりの推進	☆☆☆
	53	地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	☆☆☆
	54	季節の花でおもてなし	☆☆☆

4 令和3年度の主な予算

(1) 自主的・主体的な区政運営にかかる予算

各区が自主的・主体的に地域づくりを推進するための事業

区 分	主な取り組み内容	予算額 (千円)
安心・安全 きれいなまち	○「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ○防犯対策の推進 ○地域における自転車パトロールの推進	1,030
みんなに やさしいまち	○子育て家庭向け交流イベントの開催 ○地域における子育て支援の人材育成と活動促進 ○高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	1,897
魅力 あふれるまち	○区民まつりの開催 ○川を生かしたまちづくり ○ナッピーによるふれあい・啓発活動	6,832
その他の 取り組み	○町内会・自治会の加入促進 ○区民の声を区政に反映 ○地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	1,088
合 計		10,847

(2) 区の特性に応じたまちづくり事業にかかる予算

歴史・風土等区の特性に基づいて、区が主体となって実施する事業

取り組み内容	予算額 (千円)
○セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト～子どもを守るつながりづくり～ 子どものいのちを守る子育て防災対策事業 ○川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～	5,000

5 区まちづくり基金

皆さまの区のまちづくりへの想いを生かして、まちづくりをすすめていくための基金です。令和元年度は基金を活用して重点犯罪の多発地域などに防犯カメラを設置しました。

詳しくは区情報コーナーにあるリーフレットをご覧ください。市公式ウェブサイトで「区まちづくり基金」を検索してください。

6 関係公署（所）の取り組み

●中川警察署

電話 354-0110

「安心」して暮らせる「安全」な中川区を実現するため、犯罪の検挙に努めるほか、区民の皆さまと防犯活動に取り組むとともに、交通指導の取締りや交通安全教室の充実などにより、犯罪、交通死亡事故抑止に努めます。

●中川消防署

電話 363-0119

大規模地震などの大規模災害に備えるため職員と消防団員の連携を密にして、地域防災力の更なる向上を図るため自主防災組織の訓練を行い、地域にある事業所と支援協力を促進します。
また、消防署に見学スペースを設けて、親しまれ開かれた消防署をめざしています。

●中川環境事業所

電話 361-7638

快適できれいなまちをめざして、確実なごみ・資源・し尿収集を行うとともに、区民の皆さまとの協働により、不法投棄及びごみ散乱の防止に努めます。
また、区民まつりや転入者向けに開設する「ごみ案内所」などの機会に、ごみ・資源の分別について分かりやすく周知します。

●中川土木事務所

電話 361-7581

道路・公園・河川の施設について、計画的な維持管理を行うことにより区民の皆さまの安心安全の確保に努めます。
また、皆さまから寄せられる通報や要望に対して速やかな対応に努めます。

●上下水道局中川営業所

電話 352-2511

地震などの大規模災害に備えて、災害用備蓄飲料水「名水」を販売し、飲料水の備蓄を呼びかけるとともに、防災訓練などに積極的に協力することで、防災意識の啓発を図ります。
また、新型コロナウイルス感染症の影響で上下水道料金のお支払いが困難な区民の皆さまに、水道料金の支払猶予に関し相談等を行ってまいります。

●中川区社会福祉協議会

電話 352-8257

中川区の地域福祉の向上をめざし、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをはじめ、ボランティア活動や福祉教育の推進を、区民の皆さまとともにすすめます。

●中川生涯学習センター

電話 362-3883

地域の生涯学習の拠点として、区の魅力・特色を活かしたまちづくりや防災等に関する講座・事業の実施及び自主学習グループの活動の支援など、区民の交流と地域活動の発展に努めます。

●中川図書館

電話 353-5311

富田図書館

電話 432-5313

区内の各種資料・情報を収集・整理するとともに、市民の生活に役立つ図書館をめざして、多くの方に利用される図書館づくりに努めます。

●中川文化小劇場

電話 369-1845

地域の文化拠点として、文化活動や舞台発表を支援し、安心して親しみやすい劇場運営を行います。

また、多彩な公演鑑賞の機会を提供することで、くらしに文化と感動を届け、地域の文化振興と魅力の向上に努めます。

●露橋スポーツセンター

電話 362-4411

スポーツを身近に感じていただけるよう「スポーツ教室」の開催、「運動指導者の派遣」、無料開放イベント「スポセンまるごとフェスティバル」などを行います。今後も地域に密着したスポーツ活動の推進に取り組めます。

●富田北プール

電話 431-8991

スポーツに親しむきっかけづくりや、健康づくりの推進のため、安全で快適な施設運営を行います。幅広い年齢層を対象とした各種スポーツ教室や、無料開放イベント「富田北プールまるごとフェスティバル」を行うなど、多くの方が気軽に参加できる講座などを企画、開催します。

●西部児童相談所

電話 365-3231

子どもの福祉を図るとともにその権利を擁護するために、区役所・支所等と適切な協働・連携・役割分担を図りつつ、子どもに関する家庭その他からの相談に応じ、子どもが有する問題または子どもの真のニーズ、子どもの置かれた環境の状況等を的確に捉え、個々の子どもや家庭に適切な援助を行います。

7 区役所の組織及び連絡先

所属	課・室	係・担当	電話	事業 No.
中川区役所	総務課	防災担当	363-4309	1, 2, 3, 4, 5, 6
		庶務係	363-4306	48, 49
		統計選挙係	363-4311	—
	中川農政課	農政担当	363-4360	7, 44, 45, 51
	企画経理室		363-4383	48
	地域力推進室	地域力推進係	363-4319	8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 47
		生涯学習担当	363-4326	26, 38, 51
		安心・安全で快適なまちづくりの企画担当	363-4321	37, 39, 40, 41, 42, 43, 46
	市民課	戸籍係	363-4332	—
		住民記録係	363-4334	—
	民生子ども課	民生子ども係	363-4402	27
		子ども家庭支援担当	363-4413	16, 19, 21, 22, 23, 24, 25
		保護係	363-4407	30
	福祉課	高齢福祉係	363-4415	31, 32, 33
		障害福祉係	363-4403	34, 35
	保険年金課	管理係	363-4343	—
		保険係	363-4346	—
富田支所	区民生活課	庶務係	301-8365	42, 50, 51
		市民係	301-8241	—
	区民福祉課	保護・子ども係（児童担当）	301-8361	—
		保護・子ども係（保護担当）	301-8366	—
		福祉係（高齢担当）	301-8376	—
		福祉係（障害担当）	301-8378	—
		保険係	301-8143	—
中川保健センター	健康安全課	企画管理係	363-4452	—
		食品衛生・動物愛護等担当	363-4457	15
	保健予防課	保健感染症係	363-4461	18
		公害保健担当	363-4464	—
		感染症対策等担当	363-4462	36
		保健看護担当	363-4465	17, 20, 28, 29
	富田分室		303-5321	—

名古屋市中川区役所 企画経理室

〒454-8501 名古屋市中川区高畑一丁目223番地

電話 052-363-4383 FAX 052-363-4316

E-mail a3634304@nakagawa.city.nagoya.lg.jp